

1 大気汚染常時監視結果

(1) 調査結果一覧表

ア 二酸化硫黄（SO₂）

局 種 別	区	測定局	有効 測定日数	測定 時間	年平均値	短 期 的 評 価					長 期 的 評 価			1 時間値 の 最高値	令和3年度 の 年平均値
						1 時間値が0.1ppm を超えた時間数と その割合		日平均値が 0.04ppmを 超えた日数 とその割合		環境基準 の 達成状況	日平均値 の 2 %除外値	日平均値が0.04 ppmを超えた日 が 2 日以上連続 したことの有無	環境基準 の 達成状況		
			(日)	(時間)	(ppm)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(達成○・ 非達成×)	(ppm)		(達成○・ 非達成×)	(ppm)	(ppm)
一 般 局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	362	8669	0.001	0	0	0	0	○	0.002	無	○	0.010	0.001
	北区	城北つばさ高校	364	8665	0.000	0	0	0	0	○	0.001	無	○	0.010	0.000
	中川区	八幡中学校	293	7023	0.001	0	0	0	0	○	0.003	無	○	0.011	0.001
	南区	白水小学校	363	8649	0.001	0	0	0	0	○	0.003	無	○	0.022	0.001
	一般局平均		---	---	0.001	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.001
自 排 局	中区	若宮大通公園	363	8653	0.001	0	0	0	0	○	0.003	無	○	0.013	0.001
	自排局平均		---	---	0.001	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.001
市内平均			---	---	0.001	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.001

イ 窒素酸化物（NO_x）

局 種 別	区	測定局	二酸化窒素（NO ₂ ）											一酸化窒素（NO）				窒素酸化物（NO+NO ₂ ）					
			有効 測定 日数	測定 時間	年平 均値	1時間値 の 最高値	長 期 的 評 価			日平均値が 0.06ppmを 超えた日数 とその割合		日平均値が 0.04ppmを 超えた日数 とその割合		令和3年度 の 年平均値	年平 均値	1時間値 の 最高値	日平均値 の 年間98%値	令和3年度 の 年平均値	年平 均値	1時間値 の 最高値	日平均値 の 年間98%値	NO ₂ (NO+NO ₂) (年平均値)	令和3年度 の 年平均値
							日 平 均 値 の 年 間 98% 値	達 成 状 況															
								環 境 基 準	環 境 目 標 値														
			(日)	(時間)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(達成○・ 非達成×)	(日)	(%)	(日)	(%)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(ppm)	(%)	(ppm)	
一 般 局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	198	4773	(0.007)	0.040	(0.019)	—	—	0	0	0	0	0.008	(0.001)	0.038	(0.003)	0.001	(0.008)	0.072	(0.022)	90.4	0.009
	北区	城北つばさ高校	363	8655	0.011	0.057	0.026	○	○	0	0	0	0	0.012	0.003	0.080	0.011	0.003	0.014	0.122	0.035	80.6	0.014
	中村区	名楽町	365	8678	0.011	0.061	0.026	○	○	0	0	0	0	0.011	0.002	0.052	0.008	0.002	0.012	0.086	0.031	84.8	0.013
	昭和区	滝川小学校	363	8651	0.010	0.056	0.023	○	○	0	0	0	0	0.010	0.001	0.062	0.009	0.002	0.011	0.093	0.027	87.1	0.012
	中川区	八幡中学校	295	7043	0.011	0.060	0.028	○	○	0	0	0	0	0.010	0.002	0.080	0.009	0.002	0.012	0.111	0.036	84.7	0.012
	中川区	富田支所	364	8673	0.010	0.064	0.023	○	○	0	0	0	0	0.010	0.002	0.061	0.008	0.002	0.011	0.094	0.028	85.5	0.012
	港区	惟信高校	354	8448	0.010	0.068	0.025	○	○	0	0	0	0	0.010	0.002	0.059	0.006	0.002	0.011	0.107	0.030	86.0	0.012
	南区	白水小学校	363	8654	0.013	0.070	0.029	○	○	0	0	0	0	0.014	0.003	0.096	0.013	0.003	0.017	0.136	0.042	80.6	0.017
	守山区	守山保健センター	299	7133	0.010	0.055	0.022	○	○	0	0	0	0	0.010	0.002	0.056	0.007	0.002	0.012	0.085	0.028	84.9	0.012
	緑区	大高北小学校	364	8665	0.011	0.058	0.025	○	○	0	0	0	0	0.011	0.002	0.060	0.008	0.002	0.013	0.102	0.032	84.6	0.013
	天白区	天白保健センター	363	8650	0.010	0.057	0.024	○	○	0	0	0	0	0.010	0.001	0.066	0.005	0.002	0.011	0.098	0.028	88.2	0.012
	一般局平均			—	—	0.011	—	—	—	—	—	—	—	0.011	0.002	—	—	0.002	0.012	—	—	—	0.013
自 排 局	北区	上下水道局北営業所	365	8680	0.014	0.058	0.029	○	○	0	0	0	0	0.015	0.004	0.121	0.013	0.005	0.018	0.151	0.040	75.6	0.020
	西区	名塚中学校	363	8649	0.011	0.055	0.023	○	○	0	0	0	0	0.011	0.002	0.052	0.008	0.002	0.013	0.086	0.030	83.7	0.013
	中区	若宮大通公園	357	8519	0.014	0.062	0.030	○	○	0	0	0	0	0.014	0.006	0.100	0.016	0.006	0.020	0.158	0.044	71.6	0.020
	熱田区	熱田神宮公園	363	8650	0.012	0.059	0.029	○	○	0	0	0	0	0.013	0.003	0.068	0.009	0.003	0.015	0.108	0.039	82.1	0.015
	港区	港陽	286	6803	0.012	0.075	0.029	○	○	0	0	0	0	0.013	0.003	0.096	0.013	0.004	0.015	0.134	0.040	81.0	0.018
	南区	千竈	357	8534	0.013	0.070	0.027	○	○	0	0	0	0	0.014	0.004	0.077	0.010	0.004	0.017	0.109	0.037	76.1	0.017
	南区	元塩公園	363	8629	0.020	0.085	0.038	○	○	0	0	6	1.7	0.020	0.014	0.162	0.041	0.015	0.034	0.202	0.077	57.5	0.035
	自排局平均			—	—	0.014	—	—	—	—	—	—	—	0.014	0.005	—	—	0.006	0.019	—	—	—	0.020
市内平均			—	—	0.012	—	—	—	—	—	—	—	0.012	0.003	—	—	0.003	0.015	—	—	—	0.015	

注 令和4年度の国設名古屋大気環境測定所については、年間測定時間が6000時間未満で有効測定局ではないため（ ）としている。また、一般局平均及び市内平均の対象としていない。

ウ 一酸化炭素（CO）

局 種 別	区	測定局	有効 測定 日数	測定 時間	年平均値	短 期 的 評 価					長 期 的 評 価			1 時間値 の 最高値	令和3年度 の 年平均値
						8時間値が20ppm を超えた回数と その割合		日平均値が 10ppmを 超えた日数と その割合		環境基準 の 達成状況	日平均値 の 2%除外値	日平均値が10ppm を超えた日が2日 以上連続したこと の有無	環境基準 の 達成状況		
			(日)	(時間)	(ppm)	(回数)	(%)	(日)	(%)	(達成○・ 非達成×)	(ppm)		(達成○・ 非達成×)	(ppm)	(ppm)
一般 局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	362	8672	0.2	0	0	0	0	○	0.4	無	○	1.2	0.2
	一般局平均		---	---	0.2	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.2
自排 局	南区	元塩公園	365	8655	0.3	0	0	0	0	○	0.5	無	○	2.0	0.3
	自排局平均		---	---	0.3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.3
市内平均			---	---	0.3	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.3

エ 浮遊粒子状物質（S P M）

局 種 別	区	測定局	有効 測定 日数	測定 時間	年平均値	短 期 的 評 価					長 期 的 評 価			環境目標値 (快適な生 活環境の 確保に係 る目標値) 年平均値 0.015mg/m ³ 以下の 達成状況	1時間値 の 最高値	令和3年度 の 年平均値
						1時間値が 0.20mg/m ³ を超 えた時間数と その割合		日平均値が 0.10mg/m ³ を超 えた日数とそ の割合		環境基準・ 環境目標値 (市民の健康 の保護に係る 目標値) の達成状況	日平均値 の 2%除外値	日平均値が 0.10mg/m ³ を 超えた日 が2日以上 連続したこと の有無	環境基準・ 環境目標値 (市民の健康 の保護に係る 目標値) の達成状況			
			(日)	(時間)	(mg/m ³)	(時間)	(%)	(日)	(%)	(達成○・ 非達成×)	(mg/m ³)		(達成○・ 非達成×)	(達成○・ 非達成×)	(mg/m ³)	
一 般 局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	361	8691	0.011	0	0	0	0	○	0.024	無	○	○	0.065	0.011
	北区	城北つばさ高校	363	8710	0.014	0	0	0	0	○	0.029	無	○	○	0.061	0.013
	中村区	名楽町	363	8706	0.015	0	0	0	0	○	0.029	無	○	○	0.093	0.014
	昭和区	滝川小学校	361	8673	0.013	0	0	0	0	○	0.027	無	○	○	0.081	0.014
	中川区	八幡中学校	274	6664	0.014	0	0	0	0	○	0.029	無	○	○	0.056	0.014
	中川区	富田支所	361	8686	0.013	0	0	0	0	○	0.029	無	○	○	0.067	0.012
	港区	惟信高校	363	8712	0.012	0	0	0	0	○	0.028	無	○	○	0.053	0.015
	南区	白水小学校	363	8714	0.016	0	0	0	0	○	0.031	無	○	×	0.058	0.014
	守山区	守山保健センター	363	8693	0.009	0	0	0	0	○	0.020	無	○	○	0.052	0.011
	緑区	大高北小学校	362	8702	0.015	0	0	0	0	○	0.031	無	○	○	0.076	0.015
	天白区	天白保健センター	362	8695	0.010	0	0	0	0	○	0.025	無	○	○	0.079	0.010
	一般局平均		---	---	0.013	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.013
自 排 局	北区	上下水道局北営業所	363	8709	0.012	0	0	0	0	○	0.028	無	○	○	0.059	0.013
	西区	名塚中学校	363	8704	0.016	0	0	0	0	○	0.032	無	○	×	0.104	0.014
	中区	若宮大通公園	360	8663	0.014	0	0	0	0	○	0.028	無	○	○	0.059	0.013
	熱田区	熱田神宮公園	363	8693	0.011	0	0	0	0	○	0.023	無	○	○	0.054	0.010
	港区	港陽	363	8712	0.015	0	0	0	0	○	0.031	無	○	○	0.063	0.015
	南区	千竈	363	8716	0.014	0	0	0	0	○	0.029	無	○	○	0.088	0.014
	南区	元塩公園	363	8676	0.012	0	0	0	0	○	0.024	無	○	○	0.069	0.011
	自排局平均		---	---	0.013	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.013
市内平均		---	---	0.013	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.013	

オ 光化学オキシダント (O_x)

局種別	区	測定局	昼間測定日数	昼間測定時間	昼間の1時間値の年平均値	短 期 的 評 価					昼間の1時間値が0.12ppm以上の日数及び時間数とその割合				昼間の1時間値の最高値	令和3年度の昼間年平均値
						昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた日数及び時間数とその割合				環境基準・環境目標値の達成状況						
			(日)	(時間)	(ppm)	(日)	(%)	(時間)	(%)		(達成○・非達成×)	(日)	(%)	(時間)	(%)	(ppm)
一般局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	365	5441	0.037	90	24.7	476	8.7	×	0	0	0	0	0.106	0.034
	北区	城北つばさ高校	365	5425	0.033	72	19.7	339	6.2	×	0	0	0	0	0.097	0.035
	中村区	名楽町	365	5423	0.033	70	19.2	322	5.9	×	0	0	0	0	0.102	0.035
	昭和区	滝川小学校	365	5418	0.033	73	20.0	341	6.3	×	0	0	0	0	0.098	0.034
	中川区	八幡中学校	298	4400	0.034	56	18.8	277	6.3	×	0	0	0	0	0.092	0.033
	中川区	富田支所	360	5327	0.032	57	15.8	224	4.2	×	0	0	0	0	0.093	0.033
	港区	惟信高校	365	5426	0.032	62	17.0	249	4.6	×	0	0	0	0	0.095	0.034
	南区	白水小学校	365	5437	0.031	56	15.3	224	4.1	×	0	0	0	0	0.093	0.033
	守山区	守山保健センター	365	5423	0.034	82	22.5	389	7.2	×	0	0	0	0	0.104	0.035
	緑区	大高北小学校	365	5428	0.033	77	21.1	333	6.1	×	0	0	0	0	0.110	0.035
	天白区	天白保健センター	363	5384	0.033	59	16.3	277	5.1	×	0	0	0	0	0.094	0.033
	一般局平均			---	---	0.033	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.034
自排局	西区	名塚中学校	357	5271	0.033	76	21.3	347	6.6	×	0	0	0	0	0.103	0.033
	中区	若宮大通公園	365	5426	0.028	48	13.2	184	3.4	×	0	0	0	0	0.089	0.031
	港区	港陽	363	5376	0.030	53	14.6	224	4.2	×	0	0	0	0	0.095	0.033
	自排局平均			---	---	0.030	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.032
市内平均			---	---	0.033	---	---	---	---	---	---	---	---	---	0.034	

カ 炭化水素（HC）
 (ア) 非メタン炭化水素

局 種 別	区	測定局	測定 時間	年平 均値	6～9時 における 年平均値	6～9時 測定日数	6～9時 3時間平均値		6～9時3時間平均 値が0.20ppmCを超 えた日数とその割合		6～9時3時間平均 値が0.31ppmCを超 えた日数とその割合		令和3年度 の6～9時に おける年平均 値
							最高値	最低値					
			(時間)	(ppmC)	(ppmC)	(日)	(ppmC)	(ppmC)	(日)	(%)	(日)	(%)	(ppmC)
一 般 局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	8233	0.11	0.12	360	0.33	0.01	39	10.8	2	0.6	0.13
	中川区	富田支所	8314	0.13	0.15	363	0.46	0.02	78	21.5	20	5.5	0.15
	一般局平均		---	0.12	0.14	---	---	---	---	---	---	---	0.14
自 排 局	南区	元塩公園	8353	0.15	0.17	363	0.55	0.02	101	27.8	33	9.1	0.20
	自排局平均		---	0.15	0.17	---	---	---	---	---	---	---	0.20
	市内平均		---	0.13	0.15	---	---	---	---	---	---	---	0.16

(イ) メタン

局 種 別	区	測定局	測定 時間	年平 均値	6～9時 における 年平均値	6～9時 測定日数	6～9時 3時間平均値		令和3年度 の6～9時に おける年平均 値
							最高値	最低値	
		(時間)	(ppmC)	(ppmC)	(日)	(ppmC)	(ppmC)	(ppmC)	
一 般 局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	8233	2.02	2.04	360	2.26	1.88	2.04
	中川区	富田支所	8314	2.04	2.07	363	2.54	1.90	2.03
	一般局平均		---	2.03	2.06	---	---	---	2.04
自 排 局	南区	元塩公園	8353	2.02	2.04	363	2.37	1.85	2.03
	自排局平均		---	2.02	2.04	---	---	---	2.03
	市内平均		---	2.03	2.05	---	---	---	2.03

(ウ) 全炭化水素

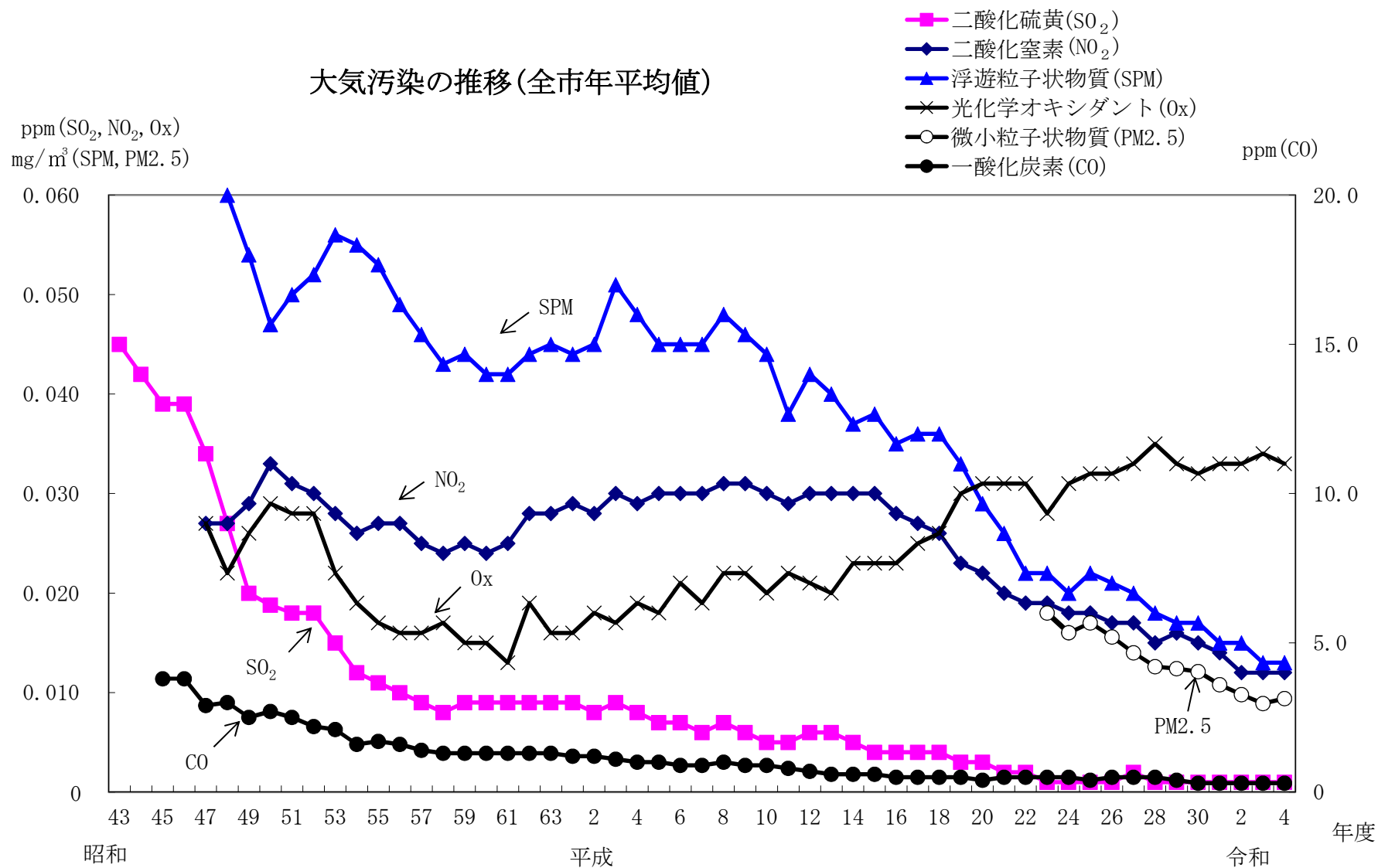
局 種 別	区	測定局	測定 時間	年平 均値	6～9時 における 年平均値	6～9時 測定日数	6～9時 3時間平均値		令和3年度 の6～9時に おける年平均 値
							最高値	最低値	
			(時間)	(ppmC)	(ppmC)	(日)	(ppmC)	(ppmC)	
一 般 局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	8233	2.13	2.16	360	2.53	1.94	2.16
	中川区	富田支所	8314	2.17	2.22	363	2.74	1.97	2.18
	一般局平均		---	2.15	2.19	---	---	---	2.17
自 排 局	南区	元塩公園	8353	2.16	2.20	363	2.71	1.93	2.23
	自排局平均		---	2.16	2.20	---	---	---	2.23
	市内平均		---	2.15	2.19	---	---	---	2.19

キ 微小粒子状物質（PM_{2.5}）

局 種 別	区	測定局	有効 測定 日数	長 期 的 評 価							令和3年度 の 年平均値
				短 期 基 準			長 期 基 準		環境基準・ 環境目標値 の達成状況		
				1日平均値が 35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた 日数とその割合	1日平均 値の年間 98パーセン タイル値	短期基準 との比較	年平均値	長期基準 との比較			
				(日)	(%)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	(達成○・ 非達成×)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)		(達成○・ 非達成×)	
一 般 局	千種区	国設名古屋大気環境測定所	359	0	0.0	20.5	○	9.4	○	○	9.0
	北区	城北つばさ高校	363	0	0.0	20.3	○	8.9	○	○	7.9
	中村区	名楽町	365	0	0.0	18.7	○	8.1	○	○	7.4
	昭和区	滝川小学校	354	0	0.0	19.5	○	8.9	○	○	8.7
	中川区	八幡中学校	293	0	0.0	23.6	○	11.0	○	○	9.4
	中川区	富田支所	297	0	0.0	20.8	○	8.5	○	○	9.2
	港区	惟信高校	363	0	0.0	21.6	○	8.9	○	○	9.1
	南区	白水小学校	364	0	0.0	21.6	○	10.0	○	○	8.7
	守山区	守山保健センター	365	0	0.0	20.3	○	9.3	○	○	8.9
	緑区	大高北小学校	362	0	0.0	19.7	○	9.3	○	○	8.7
	天白区	天白保健センター	365	0	0.0	19.2	○	8.8	○	○	8.5
	一般局平均		---	---	---	---	---	9.2	---	---	8.7
自 排 局	北区	上下水道局北営業所	362	0	0.0	20.1	○	8.6	○	○	9.5
	西区	名塚中学校	363	0	0.0	20.7	○	9.3	○	○	8.3
	中区	若宮大通公園	365	0	0.0	20.0	○	9.2	○	○	8.4
	熱田区	熱田神宮公園	363	0	0.0	19.4	○	8.5	○	○	7.8
	港区	港陽	363	0	0.0	22.7	○	10.0	○	○	10.3
	南区	千竈	363	0	0.0	23.3	○	10.8	○	○	10.1
	南区	元塩公園	363	0	0.0	22.9	○	11.2	○	○	10.7
	自排局平均		---	---	---	---	---	9.7	---	---	9.3
市内平均		---	---	---	---	---	9.4	---	---	8.9	

(2) 年平均値の推移

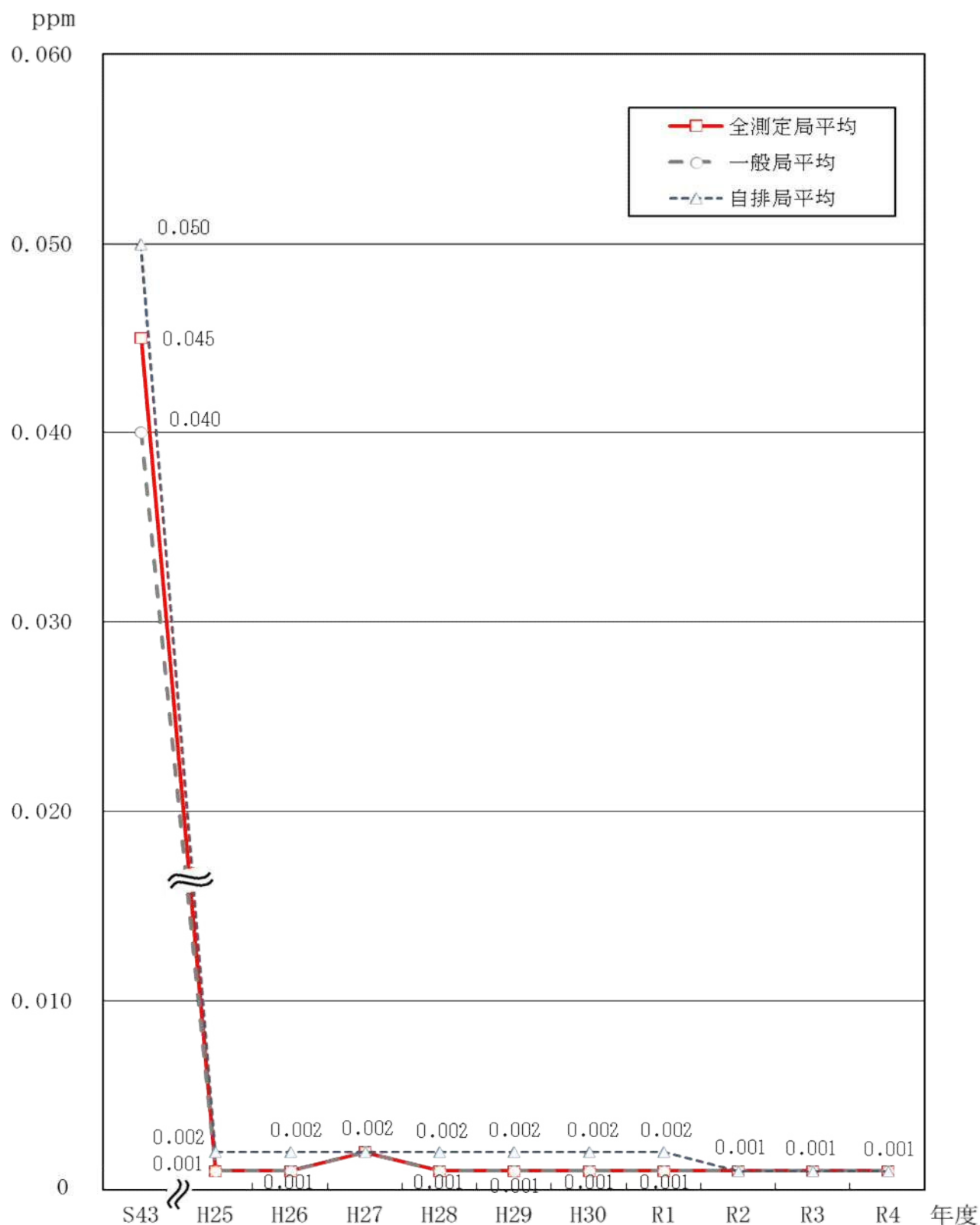
ア 大気汚染の推移(全市年平均値)



イ 二酸化硫黄（ SO_2 ）

全測定局の年平均値の平均でみると、昭和 43 年をピークに大幅に改善され、過去 10 年間の推移をみると横ばいで、令和 3 年度と比較しても横ばいである。

令和 4 年度は、全測定局平均で 0.001ppm であった。一般局平均は 0.001ppm、自排局は 0.001ppm であった。

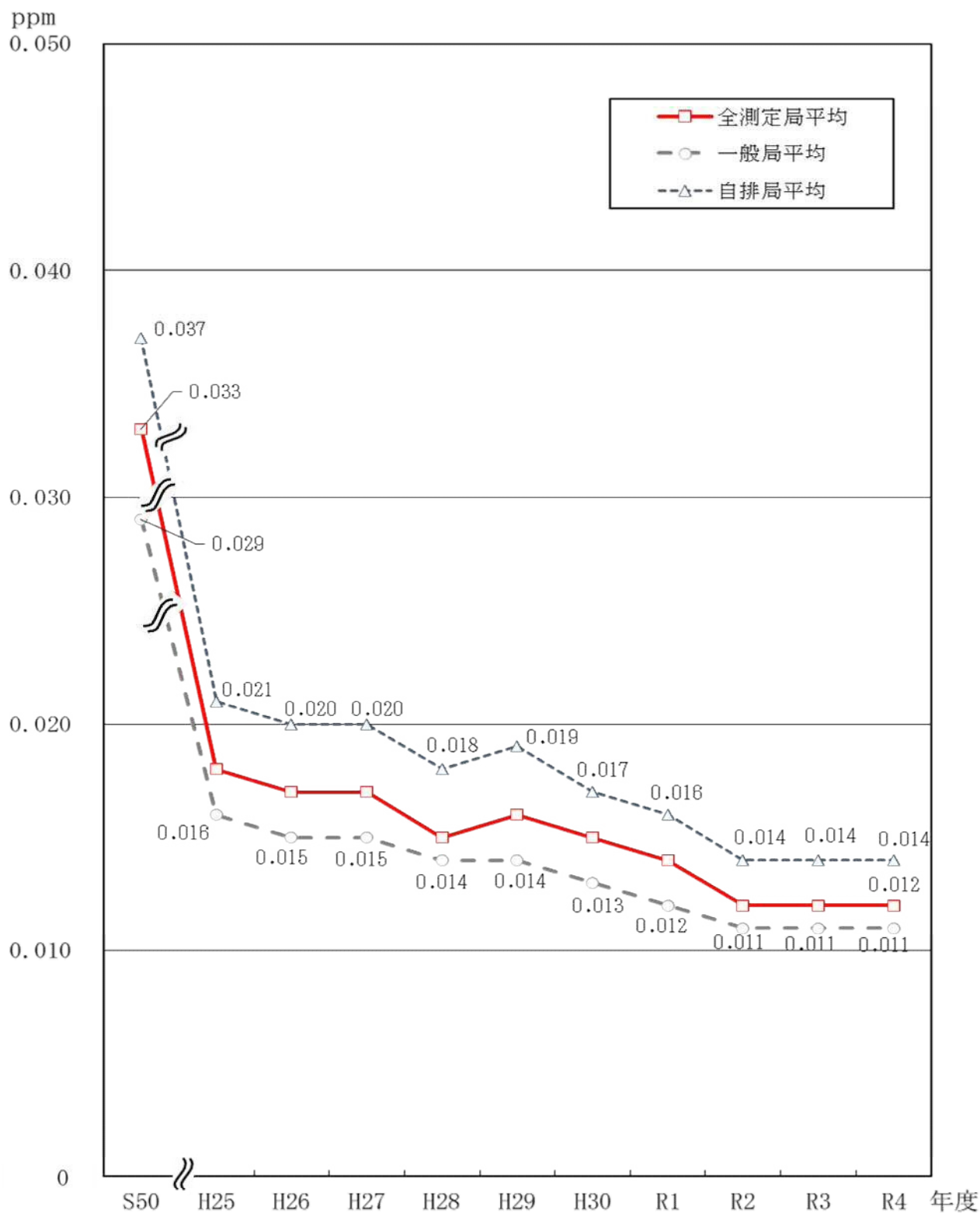


ウ 窒素酸化物 (NO_x)

(ア) 二酸化窒素 (NO₂)

全測定局の年平均値の平均でみると、昭和 50 年度をピークにその後改善を示し、過去 10 年間の推移をみると減少傾向で、令和 3 年度と比較すると横ばいである。

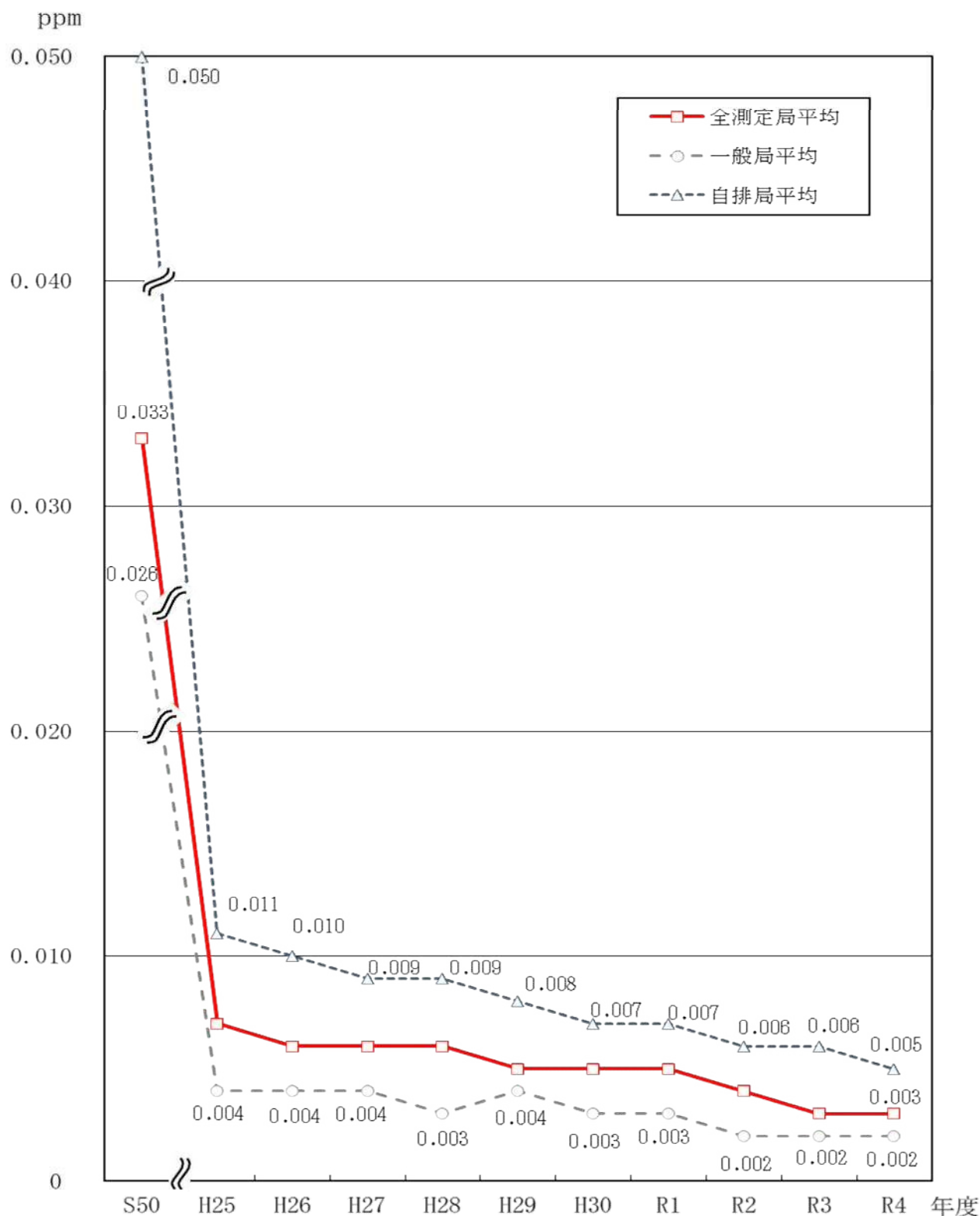
令和 4 年度は、全測定局平均で 0.012ppm であった。一般局平均は 0.011ppm、自排局平均は 0.014ppm であった。



(イ) 一酸化窒素 (NO)

全測定局の年平均値の平均でみると、昭和 50 年度をピークにその後改善を示し、過去 10 年間の推移をみると減少傾向で、令和 3 年度と比較すると横ばいである。

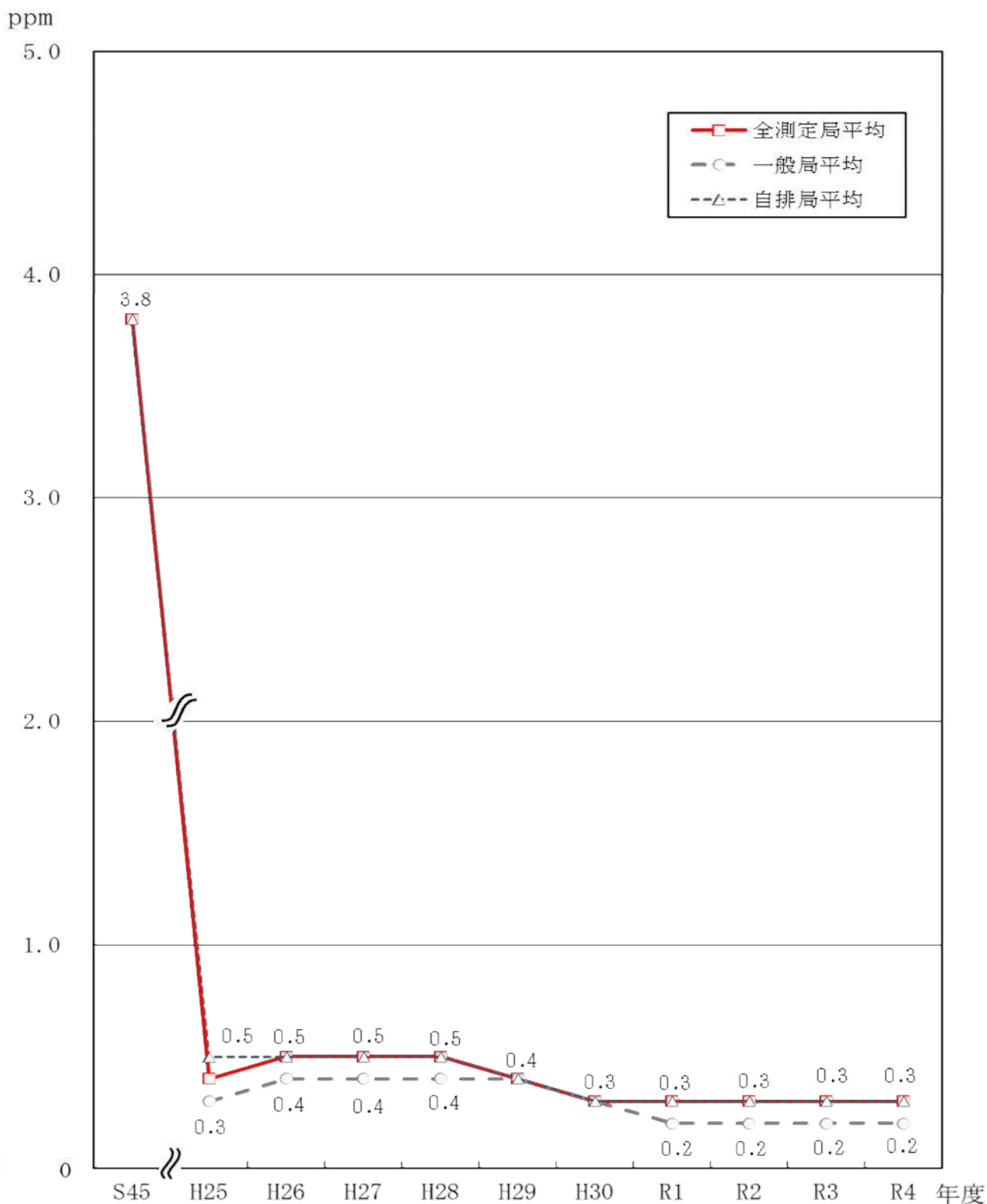
令和 4 年度は、全測定局平均で 0.003ppm であった。一般局平均は 0.002ppm、自排局平均は 0.005ppm であった。



エ 一酸化炭素（CO）

全測定局の年平均値の平均でみると、昭和 45 年度をピークにその後改善を示した。過去 10 年間の推移をみると横ばいで、令和 3 年度と比較しても横ばいである。

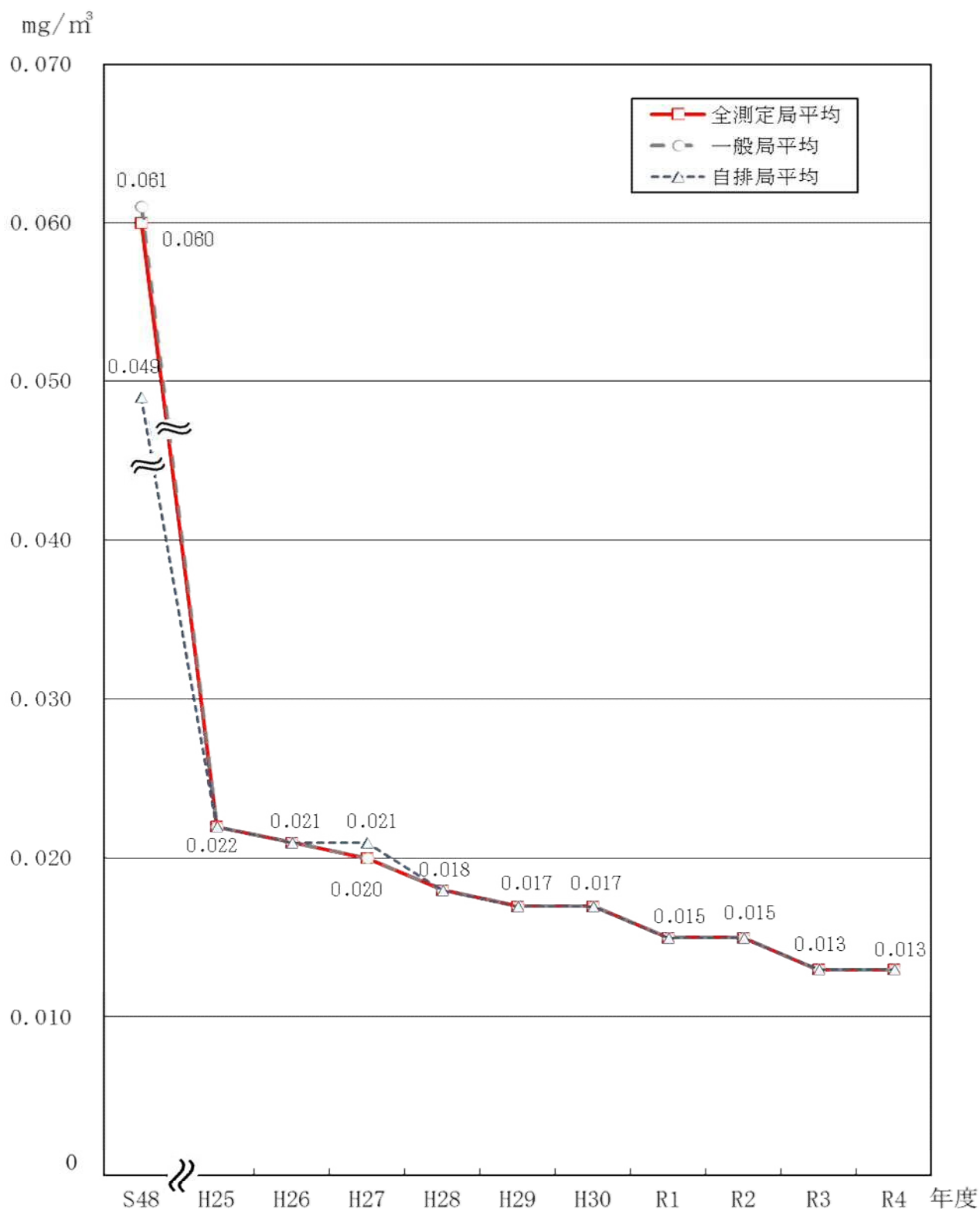
令和 4 年度は、全測定局平均で 0.3ppm であった。一般局は 0.2ppm、自排局は 0.3ppm であった。



オ 浮遊粒子状物質（S P M）

全測定局の年平均値の平均でみると、昭和 48 年度をピークにその後改善を示した。過去 10 年間の推移をみると減少傾向で、令和 3 年度と比較すると横ばいである。

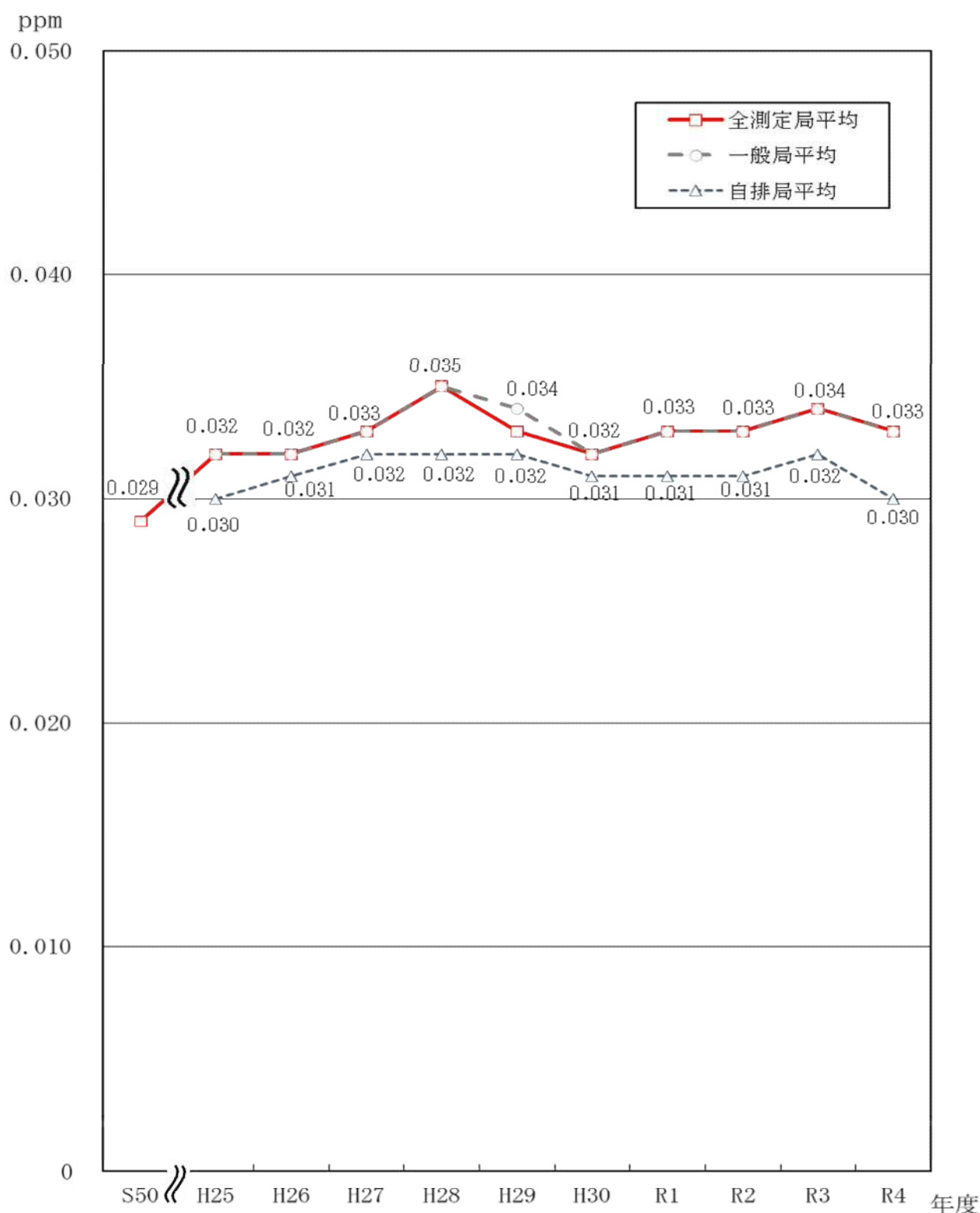
令和 4 年度は、全測定局平均で 0.013 mg/m³であった。一般局平均は 0.013 mg/m³、自排局平均は 0.013 mg/m³であった。



カ 光化学オキシダント（O_x）

全測定局の昼間（5～20 時）の年平均値の平均でみると、昭和 50 年度からいったん改善を示したが、再び増加傾向（31 ページグラフ参照）となった。過去 10 年間の推移をみると横ばいで、令和 3 年度と比較しても横ばいである。

令和 4 年度は、全測定局平均で 0.033ppm であった。一般局平均は 0.033ppm、自排局平均は 0.030ppm であった。



参考1 令和2年の環境目標値改正時に、当面の目標として令和12年度までに「昼間（5時～20時）の1時間値が0.06ppmを超えた時間数が300時間以下であること」と設定している。

この指標による各測定局の経年変化は以下のとおりである。

単位：時間

年度 測定局名		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
一般局	国設名古屋大気環境測定所	622	393	521	618	542	398	506	381	360	476
	城北つばさ高校	401	368	482	431	454	317	432	294	425	339
	名楽町	249	478	459	510	494	360	388	346	336	322
	滝川小学校	512	588	659	814	410	325	556	394	232	341
	八幡中学校	482	486	429	427	360	314	274	243	208	277
	富田支所	410	462	501	438	492	362	358	311	229	224
	惟信高校	313	395	378	384	357	300	330	294	302	249
	白水小学校	222	315	272	351	370	221	281	244	205	224
	守山保健センター	347	564	587	612	571	331	523	459	415	389
	大高北小学校	426	518	470	484	455	317	469	328	327	333
	天白保健センター	392	442	369	486	315	369	426	328	166	277
自排局	名塚中学校	329	460	362	410	375	337	391	322	270	347
	テレビ塔	146	276	347	345	317	245	—	—	—	—
	若宮大通公園	—	—	—	—	—	—	263	245	207	184
	港陽	226	293	293	332	317	230	230	248	217	224
市内平均 (時間数/14局)		363	431	438	474	416	316	388	317	279	300
300時間以下の局数		4/14	2/14	2/14	0/14	0/14	4/14	4/14	6/14	8/14	7/14

注1 太字ゴシックは、300時間以下を示す。

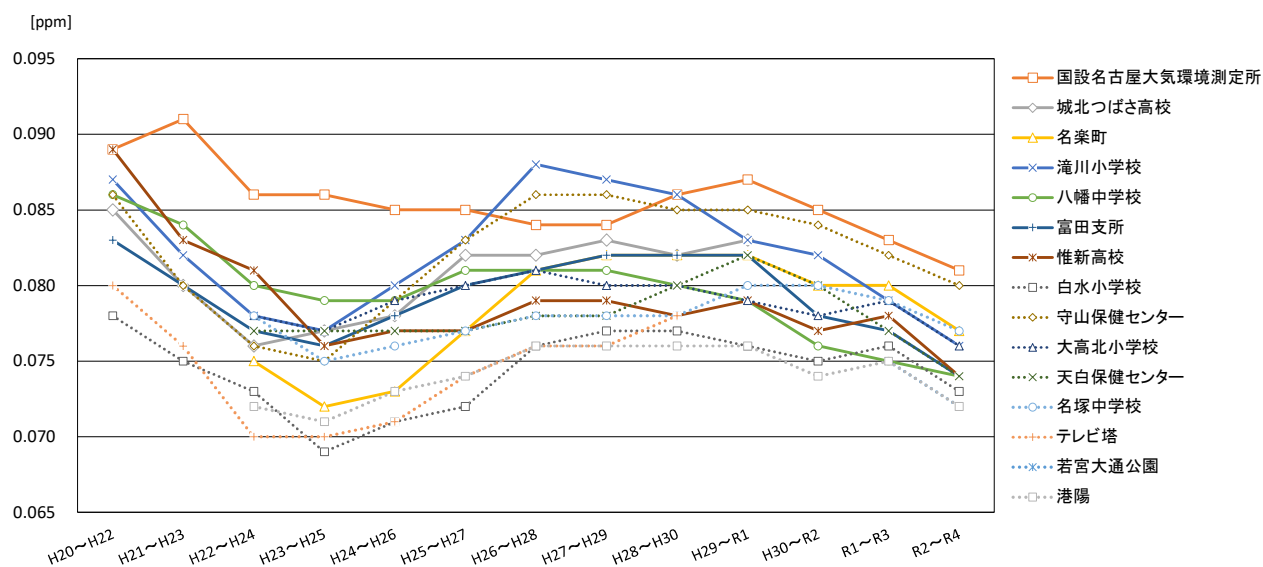
注2 テレビ塔測定局は、平成31年1月7日に廃止した。

注3 若宮大通公園測定局は、平成31年4月1日から測定を開始した。

参考2 光化学オキシダントの環境改善効果を適切に示すための指標を用いた評価

環境改善効果を適切に示す指標として、平成26年9月26日環境省より「光化学オキシダントの環境改善効果を適切に示すための指標(中間とりまとめ)」が示された。

この指標(日最高8時間値の年間99パーセンタイル値の3年移動平均値)による各測定局の経年変化は以下のとおりである。



測定局	年度	H20~ H22	H21~ H23	H22~ H24	H23~ H25	H24~ H26	H25~ H27	H26~ H28	H27~ H29	H28~ H30	H29~ R1	H30~ R2	R1~ R3	R2~ R4
一般局	国 設 名 古 屋	0.089	0.091	0.086	0.086	0.085	0.085	0.084	0.084	0.086	0.087	0.085	0.083	0.081
	城 北 つ ば さ 高 校	0.085	0.080	0.076	0.077	0.078	0.082	0.082	0.083	0.082	0.083	-	-	-
	名 楽 町	-	-	0.075	0.072	0.073	0.077	0.081	0.082	0.082	0.082	0.080	0.080	0.077
	滝 川 小 学 校	0.087	0.082	0.078	0.077	0.080	0.083	0.088	0.087	0.086	0.083	0.082	0.079	0.076
	八 幡 中 学 校	0.086	0.084	0.080	0.079	0.079	0.081	0.081	0.081	0.080	0.079	0.076	0.075	0.074
	富 田 支 所	0.083	0.080	0.077	0.076	0.078	0.080	0.081	0.082	0.082	0.082	0.078	0.077	0.074
	惟 信 高 校	0.089	0.083	0.081	0.076	0.077	0.077	0.079	0.079	0.078	0.079	0.077	0.078	0.074
	白 水 小 学 校	0.078	0.075	0.073	0.069	0.071	0.072	0.076	0.077	0.077	0.076	0.075	0.076	0.073
	守 山 保 健 セ ン タ ー	0.086	0.080	0.076	0.075	0.079	0.083	0.086	0.086	0.085	0.085	0.084	0.082	0.080
	大 高 北 小 学 校	-	-	0.078	0.077	0.079	0.080	0.081	0.080	0.080	0.079	0.078	0.079	0.076
自排局	天 白 保 健 セ ン タ ー	-	-	0.077	0.077	0.077	0.077	0.078	0.078	0.080	0.082	0.080	0.077	0.074
	一 般 局 平 均	0.085	0.082	0.078	0.076	0.078	0.080	0.081	0.082	0.082	0.081	0.080	0.079	0.076
	名 塚 中 学 校	-	-	0.078	0.075	0.076	0.077	0.078	0.078	0.078	0.080	0.080	0.079	0.077
	テ レ ビ 塔	0.080	0.076	0.070	0.070	0.071	0.074	0.076	0.076	0.078	-	-	-	-
	若 宮 大 通 公 園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.075	0.072
自排局	港 陽	-	-	0.07	0.071	0.073	0.074	0.076	0.076	0.076	0.076	0.074	0.075	0.072
	自 排 局 平 均	0.080	0.076	0.073	0.072	0.073	0.075	0.077	0.077	0.077	0.078	0.077	0.076	0.074
全市平均		0.085	0.081	0.077	0.075	0.077	0.079	0.080	0.081	0.081	0.081	0.079	0.078	0.075

注1 名楽町、大高北小学校、天白保健センター、名塚中学校及び港陽は平成22年4月1日から、若宮大通公園は平成31年4月1日から測定を開始した。

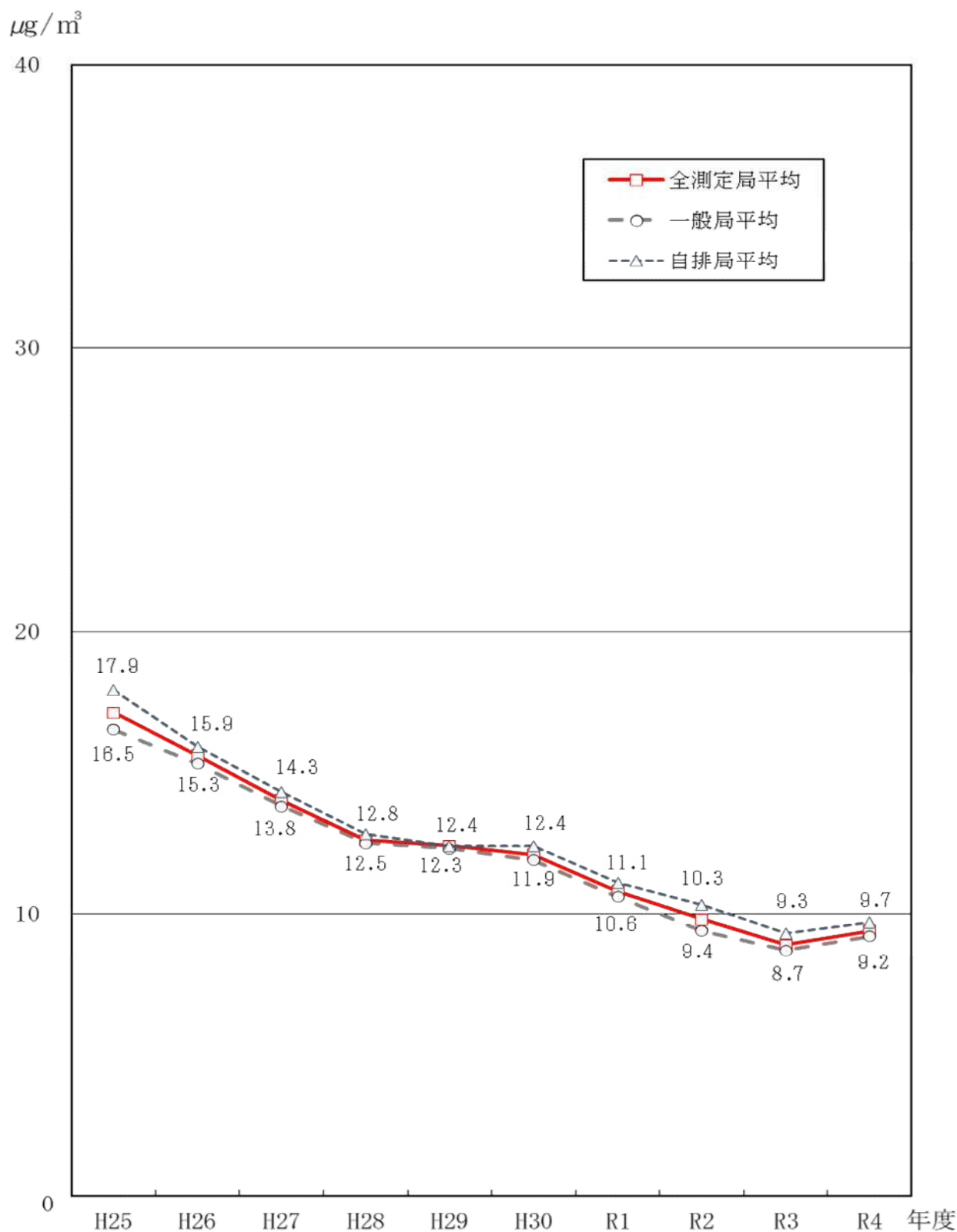
注2 テレビ塔測定局は、平成31年1月7日に廃止した。

注3 令和2年度における城北つばさ高校は日最高8時間値の有効測定日数が250日に満たないため、算出対象としていない。

キ 微小粒子状物質（PM_{2.5}）

全測定局の年平均値の平均について、過去 10 年間の推移をみると減少傾向で、令和 3 年度と比較すると横ばいである。

令和 4 年度は、全測定局平均で 9.4 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であった。一般局平均は 9.2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、自排局平均は 9.7 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であった。



(3) 大気汚染物質の経年変化

ア 全測定局の経年変化

項目		年度	S 4 8	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4
二酸化硫黄	年平均値(ppm)		0.027	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		3/17	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	4/4	5/5	5/5
	(達成率 %)		(18)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		----	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5	5/5
	(達成率 %)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
窒素酸化物	二酸化窒素	年平均値(ppm)	0.027	0.018	0.017	0.017	0.015	0.016	0.015	0.014	0.012	0.012	0.012
		環境基準達成局の割合 (長期的評価)	7/10	18/18	18/18	17/17	18/18	18/18	18/18	18/18	17/17	18/18	17/17
		(達成率 %)	(70)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	一酸化窒素	年平均値(ppm)	0.038	0.007	0.006	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005	0.004	0.003	0.003
		測定局数	10	18	18	17	18	18	18	18	17	18	17
	窒素酸化物	年平均値(ppm)	0.064	0.025	0.024	0.023	0.021	0.021	0.019	0.018	0.016	0.015	0.015
		測定局数	10	18	18	17	18	18	18	18	17	18	17
一酸化炭素	年平均値(ppm)		3.0	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		9/ 9	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2
	(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		----	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2
	(達成率 %)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
浮遊粒子状物質	年平均値(mg/m ³)		0.060	0.022	0.021	0.020	0.018	0.017	0.017	0.015	0.015	0.013	0.013
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		2/16	18/18	18/18	18/18	18/18	18/18	18/18	18/18	17/17	18/18	18/18
	(達成率 %)		(13)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		----	18/18	18/18	15/18	18/18	16/18	16/18	18/18	18/18	18/18	18/18
	(達成率 %)			(100)	(100)	(83)	(100)	(89)	(89)	(100)	(100)	(100)	(100)
光化学オキシダント	昼間(5～20時)の 年平均値(ppm)		0.022	0.032	0.032	0.033	0.035	0.033	0.032	0.033	0.033	0.034	0.033
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)		0/10	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14	0/14
	(達成率 %)		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
炭化水素	非メタン炭化水素	6～9時における 年平均値(ppmC)	----	0.18	0.16	0.18	0.16	0.18	0.18	0.17	0.15	0.16	0.15
		測定局数	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	メタン	6～9時における 年平均値(ppmC)	----	1.95	1.95	1.97	1.98	1.98	1.98	2.00	2.00	2.03	2.05
		測定局数	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
微小粒子状物質	年平均値(μg/m ³)		----	17.1	15.6	14.0	12.6	12.4	12.1	10.8	9.8	8.9	9.4
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)		----	0/13	3/17	15/18	18/18	18/18	18/18	18/18	17/17	18/18	18/18
	(達成率 %)		----	(0)	(18)	(83)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)

注1 年平均値は、全測定局のうちの有効測定局について算出した値である。有効測定局とは、二酸化硫黄・二酸化窒素・一酸化炭素・浮遊粒子状物質については年間測定時間が6,000時間以上、微小粒子状物質については標準測定法との等価性を有する自動測定機で測定されており、かつ有効測定日数が250日以上である測定局をいう。

注2 測定局数は有効測定局数である。

注3 二酸化窒素の環境基準達成局の割合のうち昭和48年度は、新ザルツマン係数による補正を加え現行の環境基準（昭和53年環境庁告示第38号）に対比したものである。

注4 光化学オキシダントの年平均値のうち、昭和48年度は全日における年平均値である。

注5 炭化水素は、昭和51年に光化学オキシダント生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針が示され、午前6～9時における年平均値が算出されるようになったため、それ以前である昭和48年度については算出していない。

イ 一般環境大気測定局の経年変化

項目			年度	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4
二酸化硫黄	年平均値 (ppm)			0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)			4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	3/3	4/4	4/4
	(達成率 %)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)			4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4
	(達成率 %)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
窒素酸化物	二酸化窒素	年平均値 (ppm)		0.016	0.015	0.015	0.014	0.014	0.013	0.012	0.011	0.011	0.011
		環境基準達成局の割合 (長期的評価)		11/11	11/11	10/10	11/11	11/11	11/11	11/11	10/10	11/11	10/10
		(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	一酸化窒素	年平均値 (ppm)		0.004	0.004	0.004	0.003	0.004	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002
		測定局数		11	11	10	11	11	11	11	10	11	10
	窒素酸化物	年平均値 (ppm)		0.020	0.019	0.019	0.017	0.018	0.016	0.015	0.013	0.013	0.012
			測定局数	11	11	10	11	11	11	11	10	10	10
一酸化炭素	年平均値 (ppm)			0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)			1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
	(達成率 %)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)			1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
	(達成率 %)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
浮遊粒子状物質	年平均値 (mg/m ³)			0.022	0.021	0.020	0.018	0.017	0.017	0.015	0.015	0.013	0.013
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)			11/11	11/11	11/11	11/11	11/11	11/11	11/11	10/10	11/11	11/11
	(達成率 %)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)			11/11	11/11	10/11	11/11	10/11	9/11	11/11	11/11	11/11	11/11
	(達成率 %)			(100)	(100)	(91)	(100)	(91)	(82)	(100)	(100)	(100)	(100)
光化学オキシダント	昼間(5～20時)の 年平均値 (ppm)			0.032	0.032	0.033	0.035	0.034	0.032	0.033	0.033	0.034	0.033
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)			0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11	0/11
	(達成率 %)			(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
炭化水素	非メタン炭化水素	6～9時における 年平均値 (ppmC)		0.15	0.14	0.15	0.13	0.15	0.16	0.14	0.13	0.14	0.14
		測定局数		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	メタン	6～9時における 年平均値 (ppmC)		1.95	1.95	1.97	1.98	1.98	1.98	2.00	2.01	2.04	2.06
		測定局数		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
微小粒子状物質	年平均値 (μg/m ³)			16.5	15.3	13.8	12.5	12.3	11.9	10.6	9.4	8.7	9.2
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)			0/7	1/10	9/11	11/11	11/11	11/11	11/11	10/10	11/11	11/11
	(達成率 %)			(0)	(10)	(82)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)

注1 年平均値は、全測定局のうちの有効測定局について算出した値である。有効測定局とは、二酸化硫黄・二酸化窒素・一酸化炭素・浮遊粒子状物質については年間測定時間が6,000時間以上、微小粒子状物質については標準測定法との等価性を有する自動測定機で測定されており、かつ有効測定日数が250日以上である測定局をいう。

注2 測定局数は有効測定局数である。

ウ 自動車排出ガス測定局の経年変化

項目			年度	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4
二酸化硫黄	年平均値 (ppm)			0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)			1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
	(達成率 %)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)			1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
	(達成率 %)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
窒素酸化物	二酸化窒素	年平均値 (ppm)		0.021	0.020	0.020	0.018	0.019	0.017	0.016	0.014	0.014	0.014
		環境基準達成局の割合 (長期的評価)		7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7
		(達成率 %)		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	一酸化窒素	年平均値 (ppm)		0.011	0.010	0.009	0.009	0.008	0.007	0.007	0.006	0.006	0.005
		測定局数		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	窒素酸化物	年平均値 (ppm)		0.032	0.031	0.029	0.027	0.027	0.024	0.023	0.021	0.020	0.019
			測定局数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
一酸化炭素	年平均値 (ppm)			0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)			1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
	(達成率 %)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)			1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1
	(達成率 %)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
浮遊粒子状物質	年平均値 (mg/m ³)			0.022	0.021	0.021	0.018	0.017	0.017	0.015	0.015	0.013	0.013
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)			7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7
	(達成率 %)			(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)			7/7	7/7	5/7	7/7	6/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7
	(達成率 %)			(100)	(100)	(71)	(100)	(86)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
光化学オキシダント	昼間(5～20時)の 年平均値 (ppm)			0.030	0.031	0.032	0.032	0.032	0.031	0.031	0.031	0.032	0.030
	環境基準達成局の割合 (短期的評価)			0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3	0/3
	(達成率 %)			(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
炭化水素	非メタン炭化水素	6～9時における 年平均値 (ppmC)		0.23	0.22	0.23	0.22	0.23	0.23	0.22	0.20	0.20	0.17
		測定局数		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	メタン	6～9時における 年平均値 (ppmC)		1.95	1.96	1.97	1.98	1.99	1.99	2.00	1.99	2.03	2.04
		測定局数		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
微小粒子状物質	年平均値 (μg/m ³)			17.9	15.9	14.3	12.8	12.4	12.4	11.1	10.3	9.3	9.7
	環境基準達成局の割合 (長期的評価)			0/6	2/7	6/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7	7/7
	(達成率 %)			(0)	(29)	(86)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)

注1 年平均値は、全測定局のうちの有効測定局について算出した値である。有効測定局とは、二酸化硫黄・二酸化窒素・一酸化炭素・浮遊粒子状物質については年間測定時間が6,000時間以上、微小粒子状物質については標準測定法との等価性を有する自動測定機で測定されており、かつ有効測定日数が250日以上である測定局をいう。

注2 測定局数は有効測定局数である。

(4) 気象項目測定結果

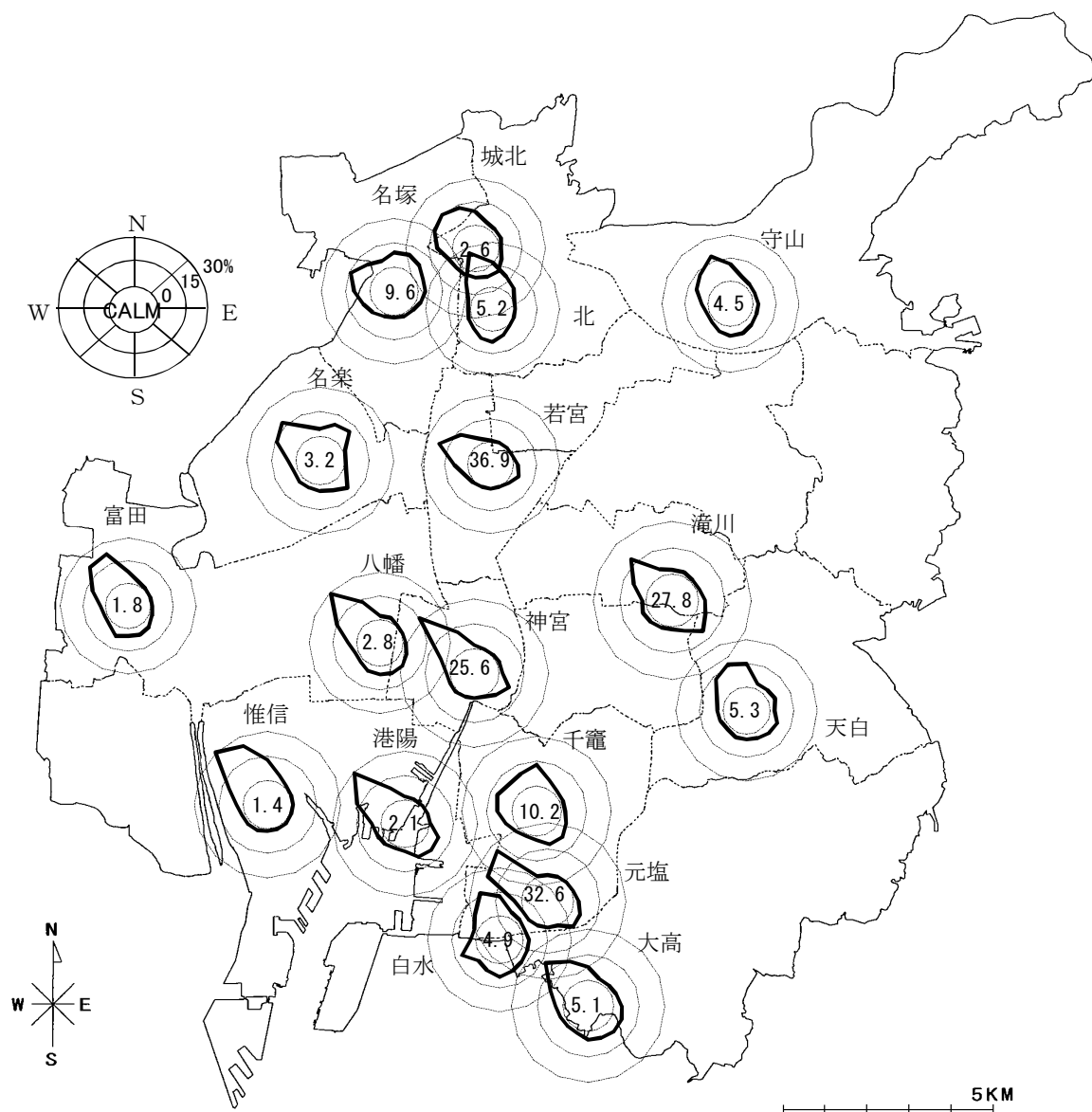
測 定 局		年平均 風速 (m/s)	年間 最多 風向	年平均 温度 (℃)	年平均 湿度 (%)	年間合計 ^{注1} 紫外線量 (mWh/m ²)
一般環境 測定局	城北つばさ高校	2.3	NW	—	—	—
	名 楽 町	2.1	NW	—	—	—
	滝 川 小 学 校	1.2	NW	—	—	—
	八 幡 中 学 校	2.5 ^{注2}	NW	—	—	—
	富 田 支 所	2.7	NNW	17.9	64.4	—
	惟 信 高 校	2.9 ^{注3}	NW	—	—	—
	白 水 小 学 校	2.1	NNW	—	—	—
	守山保健センター	2.4	NNW	—	—	—
	大 高 小 学 校	2.5	NW	—	—	—
	天白保健センター	2.8	NNW	—	—	7165.54
自動車 排出ガス 測定局	上下水道局北営業所	1.7	NNW	—	—	—
	名 塚 中 学 校	1.4	WNW	—	—	—
	若 宮 大 通 公 園	0.7	WNW	17.8	64.6	—
	熱 田 神 宮 公 園	1.0	NW	—	—	—
	港 陽	2.7	NW	—	—	—
	千 竈	1.3	N	—	—	—
	元 塩 公 園	0.9	NW	—	—	—

注1 紫外線は、A波（波長315～400nm）を測定している。

注2 八幡中学校測定局の風向風速計は、付近工事の影響で令和4年8月25日から11月1日まで欠測で、当該期間を除いたデータである。

注3 惟信高校測定局の風向風速計は、落雷の影響により令和3年7月12日から令和4年10月20日まで故障中で、それ以降のデータである。

風配図分布図



注1 円内の数値は、CALMの割合をパーセントで示す。

注2 CALMとは、風速0.4m/sec以下の状態を示す。

注3 八幡中学校測定局の風向風速計は、付近工事の影響で令和4年8月25日から11月1日まで欠測で、当該期間を除いたデータである。

注4 惟信高校測定局の風向風速計は、落雷の影響により令和3年7月12日から令和4年10月20日まで故障中で、それ以降のデータである。

2 有害大気汚染物質等モニタリング結果

(1) 環境基準が定められている物質

①月間値

調査物質	調査地点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	最小値	最大値	環境基準
ベンゼン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	会所町	0.75	0.73	0.55	0.53	0.42	0.54	0.45	1.2	0.91	1.3	0.73	0.79	0.74	0.42	1.3	3 以下
	富田支所	0.70	0.63	0.45	0.41	0.30	0.52	0.42	1.3	0.88	1.0	0.66	0.74	0.67	0.30	1.3	
	港陽	0.73	0.63	0.71	0.49	0.35	0.55	0.39	1.2	0.70	1.1	0.64	0.67	0.68	0.35	1.2	
	野跡小学校	0.96	0.70	1.0	0.44	0.94	0.60	0.42	1.0	0.73	1.2	0.64	0.75	0.78	0.42	1.2	
	白水小学校	1.0	0.67	0.60	0.56	0.70	0.66	0.60	1.1	0.70	1.4	0.62	0.70	0.78	0.56	1.4	
	本地通	0.86	0.84	0.79	0.60	0.72	0.62	0.46	1.4	0.91	1.7	0.67	0.71	0.86	0.46	1.7	
	元塩公園	0.85	0.65	0.69	0.41	0.66	0.69	0.51	1.1	0.85	1.4	0.70	0.75	0.77	0.41	1.4	
トリクロロ エチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	会所町	0.20	0.23	0.43	0.20	0.14	0.43	0.16	0.38	0.14	0.27	0.070	0.15	0.23	0.070	0.43	130 以下
	富田支所	0.44	0.13	0.15	0.47	0.11	0.53	0.66	1.3	0.29	0.65	0.13	0.11	0.41	0.11	1.3	
	港陽	0.89	0.18	0.44	0.29	0.12	0.64	0.22	1.2	0.20	0.73	1.1	0.12	0.51	0.12	1.2	
	野跡小学校	0.85	0.16	0.23	0.74	0.45	1.1	1.3	2.2	0.83	1.5	0.60	0.28	0.85	0.16	2.2	
	白水小学校	0.91	0.34	0.43	0.62	0.12	0.63	0.14	1.1	0.24	1.3	0.28	0.085	0.52	0.085	1.3	
	本地通	1.5	0.82	1.3	0.98	0.25	0.75	0.42	4.2	0.44	2.2	0.23	0.44	1.1	0.23	4.2	
	元塩公園	0.76	0.20	0.60	0.38	0.13	0.69	0.21	1.5	0.38	1.2	0.31	0.16	0.54	0.13	1.5	
テトラクロロ エチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	会所町	0.085	0.063	0.88	0.052	0.082	0.064	0.023	0.17	0.041	0.081	0.027	0.037	0.13	0.023	0.88	200 以下
	富田支所	0.046	0.048	0.61	0.19	0.029	0.056	0.029	0.078	0.043	0.062	0.023	0.043	0.10	0.023	0.61	
	港陽	0.063	0.12	0.12	3.4	0.042	0.16	0.046	0.21	0.13	0.21	0.069	0.12	0.39	0.042	3.4	
	野跡小学校	0.16	0.045	0.040	0.070	0.075	0.11	0.089	0.10	0.057	0.16	0.034	0.048	0.082	0.034	0.16	
	白水小学校	0.33	0.039	0.13	0.13	0.046	0.40	0.29	0.73	0.11	0.38	0.23	0.20	0.25	0.039	0.73	
	本地通	0.15	0.041	0.094	0.066	0.054	0.14	0.076	0.23	0.15	0.30	0.085	0.12	0.13	0.041	0.30	
	元塩公園	0.15	0.044	0.25	0.061	0.054	0.13	0.31	0.22	0.32	0.26	0.18	0.53	0.21	0.044	0.53	
ジクロロメタン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	会所町	3.3	6.5	4.8	2.8	4.9	5.9	2.6	9.0	1.5	3.2	2.2	2.2	4.1	1.5	9.0	150 以下
	富田支所	3.2	6.0	9.2	3.3	5.2	6.0	1.6	8.3	1.8	3.0	1.3	4.1	4.4	1.3	9.2	
	港陽	5.5	7.1	9.6	45	3.9	5.6	2.3	9.1	1.5	5.1	2.3	3.5	8.4	1.5	45	
	野跡小学校	3.5	4.6	8.6	2.2	2.5	5.3	2.1	7.0	2.1	3.3	2.5	3.7	4.0	2.1	8.6	
	白水小学校	6.1	8.3	18	12	11	7.2	3.4	11	2.7	7.0	2.4	3.6	7.7	2.4	18	
	本地通	7.9	6.6	24	3.8	4.5	6.6	3.1	15	2.8	8.1	3.6	4.9	7.6	2.8	24	
	元塩公園	8.0	7.9	9.7	11	5.1	5.0	3.8	11	2.4	7.5	2.2	3.8	6.4	2.2	11	

② 年平均値の経年変化

調査物質	調査地点	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	環境基準
ベンゼン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	上下水道局北営業所	1.1	1.2	1.1	1.1							3 以下
	会所町					0.95	0.96	0.90	0.74	0.89	0.74	
	富田支所	1.2	1.2	1.1	1.0	0.87	0.90	0.79	0.68	0.89	0.67	
	港陽	1.2	1.3	1.1	1.0	0.91	0.90	0.75	0.68	0.80	0.68	
	野跡小学校					1.1	1.0	0.92	0.78	1.1	0.78	
	白水小学校	1.2	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	0.83	0.72	0.92	0.78	
	本地通	1.5	1.5	1.2	1.1	1.2	1.4	0.92	0.77	0.94	0.86	
	元塩公園					1.1	0.98	0.86	0.72	0.83	0.77	
トリクロロエチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	上下水道局北営業所	0.42	0.57	0.39	0.40							130 以下
	会所町					0.40	0.55	0.34	0.19	0.40	0.23	
	富田支所	0.41	0.74	0.60	0.50	0.52	0.65	0.42	0.26	0.50	0.41	
	港陽	1.2	1.5	1.2	1.6	1.9	1.6	1.6	0.59	0.52	0.51	
	野跡小学校					1.4	1.7	1.4	1.1	0.90	0.85	
	白水小学校	0.98	0.89	0.65	0.73	0.78	0.84	0.72	0.39	0.65	0.52	
	本地通	1.9	2.4	1.3	1.0	1.4	2.4	1.2	1.0	2.0	1.1	
	元塩公園					0.76	0.95	0.68	0.32	0.68	0.54	
テトラクロロエチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	上下水道局北営業所	0.53	0.28	0.23	0.28							200 以下
	会所町					0.17	0.15	0.098	0.067	0.10	0.13	
	富田支所	0.11	0.13	0.10	0.090	0.10	0.13	0.072	0.038	0.064	0.10	
	港陽	0.51	0.30	0.17	0.17	0.21	0.19	0.22	0.12	0.23	0.39	
	野跡小学校					0.19	0.17	0.091	0.057	0.085	0.082	
	白水小学校	0.64	0.29	0.17	0.27	0.36	0.27	0.21	0.10	0.19	0.25	
	本地通	0.27	0.31	0.20	0.21	0.21	0.26	0.19	0.13	0.17	0.13	
	元塩公園					0.33	0.26	0.25	0.21	0.25	0.21	
ジクロロメタン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	上下水道局北営業所	2.8	5.3	2.3	3.1							150 以下
	会所町					2.3	2.6	1.9	1.8	2.5	4.1	
	富田支所	2.1	3.4	1.9	2.3	1.9	1.9	1.9	1.9	2.5	4.4	
	港陽	2.2	3.6	1.4	1.9	2.1	2.6	2.0	2.0	2.6	8.4	
	野跡小学校					2.3	3.4	2.1	1.8	2.4	4.0	
	白水小学校	2.9	5.1	2.5	2.4	2.4	3.8	2.8	2.2	5.3	7.7	
	本地通	5.2	5.1	2.7	4.2	4.7	4.6	4.0	3.9	4.2	7.6	
	元塩公園					3.1	4.5	3.6	3.3	5.2	6.4	

注1 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

注2 会所町は、平成28年度までの上下水道局北営業所(北区田幡二丁目4-5)に替えて測定を開始した。

注3 平成29年度より、野跡小学校、元塩公園で新たに測定を開始した。

(2) 指針値が定められている物質

① 月間値

調査物質	調査地点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	最小値	最大値	指針値
アクリロニトリル ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	会所町	0.033	0.025	0.035	0.023	0.014	0.024	0.011	0.21	0.020	0.029	0.032	0.031	0.041	0.011	0.21	2 以下
	富田支所	0.031	0.036	0.030	0.024	0.008	0.022	0.012	0.047	0.016	0.020	0.009	0.018	0.023	0.008	0.047	
	港陽	0.052	0.043	0.099	0.038	0.029	0.028	0.015	0.071	0.014	0.026	0.013	0.022	0.038	0.013	0.099	
	野跡小学校	0.049	0.098	0.034	0.029	0.034	0.025	0.013	0.057	0.025	0.018	0.012	0.018	0.034	0.012	0.098	
	白水小学校	0.069	0.050	0.063	0.049	0.063	0.049	0.038	0.091	0.054	0.076	0.036	0.038	0.056	0.036	0.091	
	本地通	0.034	0.038	0.046	0.019	0.029	0.025	0.016	0.047	0.036	0.031	0.014	0.017	0.029	0.014	0.047	
	元塩公園	0.057	0.061	0.10	0.042	0.046	0.043	0.022	0.073	0.052	0.047	0.012	0.023	0.048	0.012	0.10	
塩化ビニル モノマー ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	会所町	0.0050	<0.0028	0.038	<0.0028	0.0054	0.0037	<0.0028	0.0058	0.017	0.0088	0.0028	0.0042	0.0079	<0.0028	0.038	10 以下
	富田支所	0.0047	<0.0028	0.043	<0.0028	0.0095	0.017	0.0028	0.026	0.019	0.0075	<0.0028	0.010	0.012	<0.0028	0.043	
	港陽	0.0061	0.0033	0.045	0.0038	0.0048	0.023	0.0034	0.011	0.019	0.011	0.0052	0.0081	0.012	0.0033	0.045	
	野跡小学校	0.0095	<0.0028	0.058	<0.0028	0.052	0.064	0.0030	0.022	0.017	0.012	0.0039	0.0081	0.021	<0.0028	0.064	
	白水小学校	0.017	<0.0028	0.058	<0.0028	0.0046	0.035	0.0032	0.0065	0.018	0.013	<0.0028	0.0069	0.014	<0.0028	0.058	
	本地通	0.011	<0.0028	0.054	<0.0028	0.0047	0.032	<0.0028	0.0066	0.016	0.011	<0.0028	0.0065	0.012	<0.0028	0.054	
	元塩公園	0.013	0.0050	0.060	0.0036	0.0070	0.045	0.0037	0.0072	0.018	0.011	<0.0028	0.0073	0.015	<0.0028	0.060	
水銀及び その化合物 (ng/m^3)	会所町	0.44	0.76	1.5	1.1	0.98	1.0	—	1.9	1.4	1.7	1.2	1.5	1.2	0.44	1.9	40 以下
	富田支所	1.7	1.9	1.8	1.7	1.3	1.7	—	2.1	1.1	1.3	1.0	1.2	1.5	1.0	2.1	
	港陽	2.5	2.4	2.1	1.5	1.4	1.9	—	1.8	1.5	1.7	1.4	1.1	1.8	1.1	2.5	
	白水小学校	2.0	1.8	1.8	1.6	2.0	3.2	—	2.4	1.6	1.9	1.8	2.6	2.1	1.6	3.2	
	本地通	1.9	1.7	1.6	1.3	2.0	2.2	—	2.0	1.6	1.7	1.5	1.7	1.7	1.3	2.2	
	元塩公園	2.1	2.0	1.9	1.3	1.7	2.3	—	1.6	1.4	1.5	1.3	2.1	1.7	1.3	2.3	
ニッケル化合物 (ng/m^3)	会所町	3.6	2.6	<0.9	<0.9	<0.9	<0.9	<0.9	6.0	<0.9	2.0	<0.9	1.0	1.5	<0.9	6.0	25 以下
	富田支所	3.5	5.7	<0.9	2.7	2.2	2.6	1.5	5.9	1.1	2.7	<0.9	1.7	2.5	<0.9	5.9	
	港陽	7.6	7.1	3.2	3.9	1.7	2.1	2.5	5.6	1.3	3.1	<0.9	2.4	3.4	<0.9	7.6	
	白水小学校	34	7.7	3.0	8.5	7.4	7.2	10	11	8.7	11	3.4	3.7	9.6	3.0	34	
	本地通	17	4.7	13	3.5	7.8	2.7	1.9	15	1.9	9.9	2.2	4.2	7.0	1.9	17	
	元塩公園	8.7	7.0	4.1	2.0	25	3.1	1.4	6.8	3.0	6.0	1.6	2.1	5.9	1.4	25	
クロロホルム ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	会所町	0.15	0.17	0.13	0.13	0.16	0.17	0.13	0.18	0.13	0.16	0.16	0.15	0.15	0.13	0.18	18 以下
	富田支所	0.14	0.17	0.12	0.14	0.16	0.36	0.12	0.18	0.14	0.16	0.15	0.14	0.16	0.12	0.36	
	港陽	0.16	0.18	0.14	0.20	0.17	0.23	0.12	0.21	0.15	0.17	0.17	0.16	0.17	0.12	0.23	
	野跡小学校	0.17	0.18	0.13	0.16	0.22	0.29	0.13	0.21	0.16	0.19	0.19	0.17	0.18	0.13	0.29	
	白水小学校	0.19	0.18	0.14	0.20	0.18	0.27	0.16	0.31	0.18	0.23	0.19	0.17	0.20	0.14	0.31	
	本地通	0.18	0.16	0.13	0.16	0.17	0.20	0.13	0.24	0.21	0.21	0.16	0.16	0.18	0.13	0.24	
	元塩公園	0.16	0.19	0.15	0.18	0.18	0.22	0.13	0.22	0.30	0.21	0.17	0.17	0.19	0.13	0.30	
1,2-ジクロロ エタン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	会所町	0.12	0.16	0.096	0.091	0.12	0.071	0.091	0.20	0.12	0.11	0.11	0.12	0.12	0.071	0.20	1.6 以下
	富田支所	0.12	0.17	0.094	0.10	0.12	0.15	0.088	0.23	0.12	0.096	0.10	0.12	0.13	0.088	0.23	
	港陽	0.12	0.16	0.11	0.088	0.12	0.11	0.096	0.21	0.11	0.10	0.11	0.12	0.12	0.088	0.21	
	野跡小学校	0.14	0.17	0.11	0.10	0.20	0.13	0.095	0.24	0.11	0.10	0.10	0.12	0.13	0.095	0.24	
	白水小学校	0.16	0.16	0.10	0.082	0.11	0.11	0.10	0.21	0.11	0.11	0.097	0.12	0.12	0.082	0.21	
	本地通	0.14	0.16	0.10	0.078	0.12	0.11	0.099	0.21	0.11	0.11	0.099	0.12	0.12	0.078	0.21	
	元塩公園	0.15	0.16	0.11	0.080	0.12	0.12	0.10	0.21	0.11	0.11	0.10	0.12	0.12	0.080	0.21	

注1 「<」は検出下限値未満を表す。

注2 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

注3 「—」はデータが欠測であることを示す。

調査物質	調査地点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	最小値	最大値	指針値
1,3-ブタジエン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	会所町	0.045	0.072	0.13	0.070	0.035	0.053	0.042	0.13	0.085	0.14	0.059	0.072	0.078	0.035	0.14	2.5 以下
	富田支所	0.029	0.021	0.15	0.038	0.017	0.040	0.032	0.12	0.058	0.083	0.037	0.042	0.056	0.017	0.15	
	港陽	0.040	0.023	0.14	0.042	0.029	0.053	0.025	0.13	0.045	0.10	0.030	0.028	0.057	0.023	0.14	
	野跡小学校	0.092	0.023	0.19	0.044	0.066	0.054	0.033	0.089	0.050	0.11	0.040	0.037	0.069	0.023	0.19	
	白水小学校	0.061	0.029	0.15	0.056	0.021	0.049	0.030	0.090	0.047	0.11	0.030	0.033	0.059	0.021	0.15	
	本地通	0.062	0.051	0.17	0.067	0.041	0.069	0.038	0.14	0.10	0.17	0.059	0.053	0.085	0.038	0.17	
	元塩公園	0.059	0.020	0.16	0.054	0.047	0.089	0.052	0.10	0.064	0.14	0.060	0.055	0.075	0.020	0.16	
ヒ素及び その化合物 (ng/m^3)	会所町	5.0	1.5	0.24	0.54	0.50	0.39	0.64	2.1	0.83	0.75	0.21	0.62	1.1	0.21	5.0	6 以下
	富田支所	4.3	1.3	0.20	0.54	0.36	0.49	0.88	2.1	0.66	0.37	0.21	0.55	1.0	0.20	4.3	
	港陽	4.3	1.2	0.47	0.57	0.46	0.58	1.3	2.5	0.81	0.84	0.31	0.84	1.2	0.31	4.3	
	白水小学校	4.4	1.2	0.64	0.50	0.80	0.65	1.7	2.5	0.85	0.82	0.38	0.82	1.3	0.38	4.4	
	本地通	4.5	1.2	0.56	0.45	0.74	0.56	1.4	2.4	0.71	0.78	0.28	0.67	1.2	0.28	4.5	
	元塩公園	4.6	1.3	0.61	0.47	1.0	0.57	1.4	2.5	0.89	0.80	0.36	0.78	1.3	0.36	4.6	
マンガン及び その化合物 (ng/m^3)	会所町	32	30	8.6	9.3	6.5	12	9.3	39	16	26	5.6	11	17	5.6	39	140 以下
	富田支所	25	45	12	14	7.6	13	13	43	13	18	8.7	11	19	7.6	45	
	港陽	45	50	21	15	24	18	17	58	24	36	18	33	30	15	58	
	白水小学校	58	50	31	33	82	32	34	63	57	81	41	55	51	31	82	
	本地通	36	42	35	15	44	22	19	68	26	52	13	22	33	13	68	
	元塩公園	37	44	33	16	43	19	21	43	38	44	19	34	33	16	44	
塩化メチル ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	会所町	1.5	1.4	1.3	1.3	1.4	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.6	2.0	1.4	1.1	2.0	94 以下
	富田支所	1.4	1.4	1.3	1.3	1.4	1.5	1.2	1.3	1.2	1.1	1.5	2.0	1.4	1.1	2.0	
	港陽	1.4	1.4	1.3	1.3	1.5	1.5	1.3	1.3	1.2	1.2	1.5	1.9	1.4	1.2	1.9	
	野跡小学校	1.4	1.4	1.2	1.3	1.4	1.5	1.3	1.4	1.1	1.1	1.5	2.0	1.4	1.1	2.0	
	白水小学校	1.5	1.4	1.2	1.3	1.4	1.5	1.2	1.3	1.1	1.1	1.3	1.7	1.3	1.1	1.7	
	本地通	1.4	1.5	1.2	1.3	1.4	1.5	1.2	1.3	1.1	1.1	1.4	1.8	1.4	1.1	1.8	
	元塩公園	1.4	1.4	1.2	1.2	1.4	1.5	1.3	1.2	1.2	1.2	1.5	1.9	1.4	1.2	1.9	
アセトアルデヒド ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	会所町	1.8	1.9	1.3	1.2	1.8	1.2	0.99	2.9	1.1	1.7	0.57	0.81	1.4	0.57	2.9	120 以下
	富田支所	2.6	3.1	2.4	2.6	3.0	3.9	1.9	3.2	1.5	1.9	1.2	1.3	2.4	1.2	3.9	
	港陽	2.1	3.3	1.9	2.8	3.4	3.4	1.6	3.5	1.5	2.0	1.4	1.6	2.4	1.4	3.5	
	白水小学校	2.4	2.8	1.7	2.2	1.7	2.6	1.4	3.4	1.2	2.2	1.0	1.2	2.0	1.0	3.4	
	本地通	2.0	2.2	3.4	1.8	3.1	1.7	1.0	2.8	0.96	2.1	0.65	0.68	1.9	0.65	3.4	
	元塩公園	2.8	4.6	3.9	2.5	1.9	2.3	1.6	4.0	1.4	2.5	1.0	1.2	2.5	1.0	4.6	

② 年平均値の経年変化

調査物質	調査地点	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	指針値
アクリロニトリル ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	上下水道局北営業所	0.0076	0.048	0.069	0.048							2 以下
	会所町					0.031	0.050	0.053	0.025	0.059	0.041	
	富田支所	0.038	0.034	0.10	0.049	0.059	0.033	0.032	0.018	0.033	0.023	
	港陽	0.064	0.069	0.087	0.036	0.054	0.065	0.036	0.034	0.047	0.038	
	野跡小学校					0.077	0.047	0.058	0.040	0.057	0.034	
	白水小学校	0.074	0.17	0.24	0.19	0.12	0.11	0.063	0.048	0.066	0.056	
	本地通	0.034	0.079	0.13	0.061	0.049	0.059	0.032	0.024	0.035	0.029	
	元塩公園					0.14	0.13	0.057	0.050	0.063	0.048	
塩化ビニル モノマー ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	上下水道局北営業所	0.017	0.015	0.012	0.043							10 以下
	会所町					0.016	0.0057	0.014	0.006	0.008	0.0079	
	富田支所	0.017	0.021	0.019	0.037	0.021	0.013	0.020	0.012	0.016	0.012	
	港陽	0.021	0.021	0.014	0.045	0.020	0.0086	0.024	0.009	0.017	0.012	
	野跡小学校					0.026	0.013	0.023	0.010	0.016	0.021	
	白水小学校	0.055	0.017	0.018	0.052	0.021	0.0086	0.021	0.010	0.024	0.014	
	本地通	0.018	0.022	0.014	0.050	0.021	0.0070	0.021	0.009	0.016	0.012	
	元塩公園					0.025	0.0063	0.022	0.011	0.018	0.015	
水銀及び その化合物 (ng/m^3)	上下水道局北営業所	2.1	1.6	1.5	1.4							40 以下
	会所町					1.4	1.9	1.7	1.8	1.3	1.2	
	富田支所	2.2	1.6	1.5	1.6	1.2	2.1	2.0	1.9	1.7	1.5	
	港陽	2.9	2.5	2.4	2.4	1.8	2.7	2.8	2.4	2.2	1.8	
	白水小学校	2.9	2.7	2.7	2.6	2.1	2.4	2.5	2.4	2.0	2.1	
	本地通	2.3	2.0	1.9	1.5	1.4	2.2	2.1	2.0	1.7	1.7	
	元塩公園					1.4	2.2	2.2	2.0	1.8	1.7	
ニッケル化合物 (ng/m^3)	上下水道局北営業所	3.1	3.4	3.5	2.0							25 以下
	会所町					2.1	2.6	2.2	2.0	2.2	1.5	
	富田支所	4.4	5.8	4.2	3.2	3.0	4.1	2.7	2.7	3.6	2.5	
	港陽	8.5	9.8	6.6	4.4	5.9	6.7	6.0	5.6	5.4	3.4	
	白水小学校	10	13	11	9.2	5.9	22	14	12	9.1	9.6	
	本地通	8.4	10	7.3	6.5	5.9	10	5.6	7.8	7.8	7.0	
	元塩公園					9.6	12	9.0	12	8.4	5.9	
クロロホルム ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	上下水道局北営業所	0.37	0.32	0.39	0.78							18 以下
	会所町					0.28	0.22	0.21	0.26	0.28	0.15	
	富田支所	0.23	0.31	0.31	0.47	0.30	0.20	0.21	0.29	0.29	0.16	
	港陽	0.51	0.40	0.37	0.45	0.36	0.27	0.26	0.30	0.35	0.17	
	野跡小学校					0.38	0.27	0.23	0.32	0.38	0.18	
	白水小学校	0.41	0.71	1.1	1.1	0.50	0.73	0.71	0.38	0.39	0.20	
	本地通	0.26	0.45	0.49	0.67	0.47	0.37	0.22	0.29	0.37	0.18	
	元塩公園					0.49	0.32	0.45	0.34	0.33	0.19	
1,2-ジクロロ エタン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	上下水道局北営業所	0.12	0.14	0.12	0.19							1.6 以下
	会所町					0.14	0.15	0.18	0.16	0.17	0.12	
	富田支所	0.38	0.52	0.34	0.36	0.27	0.15	0.17	0.18	0.17	0.13	
	港陽	0.13	0.18	0.13	0.17	0.15	0.15	0.16	0.17	0.17	0.12	
	野跡小学校					0.19	0.16	0.17	0.19	0.18	0.13	
	白水小学校	0.19	0.18	0.14	0.15	0.15	0.15	0.17	0.17	0.18	0.12	
	本地通	0.13	0.17	0.13	0.16	0.15	0.15	0.16	0.17	0.17	0.12	
	元塩公園					0.16	0.15	0.16	0.18	0.16	0.12	

注1 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

注2 会所町は、平成28年度までの上下水道局北営業所(北区田幡二丁目4-5)に替えて測定を開始した。

注3 平成29年度より、野跡小学校、元塩公園で新たに測定を開始した。

調査物質	調査地点	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	指針値
1,3-ブタジエン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	上下水道局北営業所	0.10	0.12	0.12	0.11							2.5 以下
	会所町					0.091	0.078	0.061	0.060	0.081	0.078	
	富田支所	0.076	0.097	0.13	0.12	0.072	0.078	0.046	0.046	0.053	0.056	
	港陽	0.092	0.098	0.12	0.092	0.067	0.10	0.043	0.046	0.052	0.057	
	野跡小学校					0.10	0.14	0.066	0.056	0.067	0.069	
	白水小学校	0.14	0.11	0.13	0.12	0.090	0.10	0.059	0.051	0.063	0.059	
	本地通	0.17	0.17	0.18	0.15	0.11	0.17	0.075	0.065	0.077	0.085	
	元塩公園					0.093	0.11	0.062	0.062	0.062	0.075	
ヒ素及び その化合物 (ng/m^3)	上下水道局北営業所	1.9	1.2	0.96	1.2							6 以下
	会所町					1.0	0.95	1.0	1.9	1.7	1.1	
	富田支所	2.1	1.4	1.1	1.3	0.98	1.0	0.89	2.0	1.7	1.0	
	港陽	2.3	1.7	1.3	1.4	1.1	1.3	1.1	1.8	2.0	1.2	
	白水小学校	1.8	1.6	1.1	1.2	0.74	1.3	1.0	1.7	1.8	1.3	
	本地通	2.1	1.7	1.1	1.3	1.1	1.3	0.97	1.6	1.7	1.2	
	元塩公園					1.1	1.2	1.1	1.6	1.9	1.3	
マンガン及び その化合物 (ng/m^3)	上下水道局北営業所	17	23	17	13							140 以下
	会所町					18	24	18	15	25	17	
	富田支所	24	35	24	18	23	30	21	18	31	19	
	港陽	44	57	39	29	36	54	36	31	43	30	
	白水小学校	61	70	52	47	51	58	46	40	70	51	
	本地通	40	55	40	31	37	56	34	30	45	33	
	元塩公園					40	41	38	34	46	33	
塩化メチル ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	上下水道局北営業所	1.4	1.4	1.4	1.8							94 以下
	会所町					1.2	1.2	1.4	1.4	1.3	1.4	
	富田支所	1.4	1.6	1.4	1.9	1.2	1.1	1.3	1.4	1.3	1.4	
	港陽	1.4	1.6	1.3	1.7	1.2	1.1	1.3	1.5	1.3	1.4	
	野跡小学校					1.2	1.1	1.3	1.4	1.3	1.4	
	白水小学校	1.2	1.4	1.2	1.4	1.0	1.1	1.2	1.4	1.3	1.3	
	本地通	1.3	1.5	1.2	1.6	1.2	1.1	1.3	1.4	1.3	1.4	
	元塩公園					1.2	1.2	1.3	1.4	1.3	1.4	
アセトアルデヒド ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	上下水道局北営業所	2.1	2.7	2.5	2.4							120 以下
	会所町					1.7	2.0	1.9	1.3	1.6	1.4	
	富田支所	2.2	2.9	2.4	1.8	2.0	2.7	2.0	1.9	2.6	2.4	
	港陽	2.5	3.0	2.5	1.6	2.3	2.3	2.0	1.9	2.6	2.4	
	白水小学校	2.7	2.9	2.8	2.3	2.2	2.5	2.3	1.7	2.2	2.0	
	本地通	1.9	2.3	2.0	1.6	1.7	2.0	1.8	1.4	1.7	1.9	
	元塩公園					3.0	3.2	2.2	2.3	2.7	2.5	

注1 マンガン及びその化合物の指針値が設定されたのは平成26年度であり、それ以前の測定値は参考値である。

注2 塩化メチル、アセトアルデヒドの指針値が設定されたのは令和2年度であり、それ以前の測定値は参考値である。

注3 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

注4 会所町は、平成28年度までの上下水道局北営業所(北区田幡二丁目4-5)に替えて測定を開始した。

注5 平成29年度より、野跡小学校、元塩公園で新たに測定を開始した。

(3) 環境基準・指針値が定められていない物質

① 月間値

調査物質	調査地点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	最小値	最大値
ホルムアルデヒド ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	会所町	2.7	3.7	2.0	2.4	4.0	2.6	1.3	2.5	1.3	1.7	0.68	0.93	2.2	0.68	4.0
	富田支所	3.6	5.7	4.9	6.9	5.0	6.7	3.5	3.5	1.6	1.9	1.4	1.6	3.9	1.4	6.9
	港陽	3.1	4.9	1.6	4.4	3.2	4.1	2.5	3.4	1.3	1.8	1.3	1.4	2.8	1.3	4.9
	白水小学校	3.4	4.0	2.5	5.3	2.8	4.9	2.3	3.4	1.4	2.0	1.1	1.3	2.9	1.1	5.3
	本地通	3.0	3.4	5.5	2.1	5.3	3.2	1.4	2.8	1.4	2.2	0.86	0.95	2.7	0.86	5.5
	元塩公園	5.4	12	11	6.4	2.7	3.7	2.6	7.1	2.7	3.8	1.2	1.6	5.0	1.2	12
酸化エチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	会所町	0.055	0.084	0.051	0.039	0.025	0.040	0.052	0.098	0.031	0.071	0.015	0.030	0.049	0.015	0.098
	富田支所	0.059	0.078	0.071	0.047	0.034	0.040	0.059	0.078	0.033	0.022	0.016	0.016	0.046	0.016	0.078
	港陽	0.060	0.068	0.056	0.041	0.028	0.038	0.058	0.086	0.034	0.026	0.019	0.020	0.044	0.019	0.086
	白水小学校	0.083	0.071	0.057	0.041	0.027	0.050	0.066	0.12	0.060	0.074	0.016	0.043	0.059	0.016	0.12
	本地通	0.075	0.076	0.083	0.035	0.050	0.038	0.051	0.080	0.049	0.043	0.024	0.022	0.052	0.022	0.083
	元塩公園	0.069	0.076	0.085	0.039	0.026	0.041	0.079	0.17	0.058	0.041	0.011	0.024	0.060	0.011	0.17
ベンゾ[a]ピレン (ng/m^3)	会所町	0.13	0.10	0.087	0.017	0.014	0.032	0.027	0.17	0.10	0.24	0.034	0.087	0.086	0.014	0.24
	富田支所	0.079	0.44	0.034	0.023	0.015	0.055	0.029	0.17	0.074	0.15	0.034	0.053	0.096	0.015	0.44
	港陽	0.078	0.25	0.45	0.029	0.025	0.058	0.028	0.17	0.061	0.22	0.027	0.056	0.12	0.025	0.45
	白水小学校	0.082	0.33	0.12	0.029	0.35	0.059	0.034	0.18	0.078	0.20	0.038	0.068	0.13	0.029	0.35
	本地通	0.072	0.21	0.071	0.026	0.28	0.044	0.024	0.19	0.063	0.28	0.038	0.068	0.11	0.024	0.28
	元塩公園	0.068	0.34	0.29	0.024	0.22	0.055	0.025	0.18	0.082	0.23	0.050	0.063	0.14	0.024	0.34
クロム及び その化合物 (ng/m^3)	会所町	9.3	12	4.1	2.6	1.9	1.3	1.5	14	3.5	5.2	1.2	2.9	5.0	1.2	14
	富田支所	5.5	16	2.5	8.0	3.6	2.7	1.7	11	2.0	4.6	1.7	2.1	5.1	1.7	16
	港陽	17	18	8.5	13	6.2	4.9	3.5	15	5.3	9.1	3.9	7.3	9.3	3.5	18
	白水小学校	41	27	11	39	22	16	12	31	21	28	9.6	12	22	9.6	41
	本地通	12	17	12	5.9	19	8.4	4.5	19	5.5	13	4.3	6.1	11	4.3	19
	元塩公園	21	21	13	6.3	62	6.5	6.1	16	7.4	14	5.5	7.3	16	5.5	62
ベリリウム及び その化合物 (ng/m^3)	会所町	0.022	0.023	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	0.038	0.026	0.020	<0.019	0.021	0.017	<0.019	0.038
	富田支所	0.027	0.022	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	0.033	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	0.014	<0.019	0.033
	港陽	0.033	0.019	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	0.020	0.033	0.026	0.021	<0.019	0.027	0.019	<0.019	0.033
	白水小学校	0.035	0.030	<0.019	<0.019	0.026	<0.019	0.027	0.038	0.021	0.032	0.028	0.033	0.025	<0.019	0.038
	本地通	0.032	0.024	<0.019	<0.019	0.021	<0.019	<0.019	0.033	<0.019	0.027	<0.019	0.025	0.018	<0.019	0.033
	元塩公園	0.025	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	<0.019	0.021	0.023	0.026	<0.019	<0.019	0.032	0.016	<0.019	0.032
トルエン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	会所町	8.5	5.3	5.4	6.4	7.7	11	3.6	19	8.0	17	2.5	3.6	8.2	2.5	19
	富田支所	6.0	3.0	3.4	5.6	1.8	6.7	3.5	15	5.5	11	4.5	3.0	5.8	1.8	15
	港陽	6.1	5.0	5.0	7.7	2.8	6.4	2.3	15	4.4	11	2.9	2.0	5.9	2.0	15
	野跡小学校	6.5	3.2	3.2	5.7	5.0	6.3	3.1	12	3.9	13	1.9	2.4	5.5	1.9	13
	白水小学校	10	3.9	5.5	7.0	3.3	8.4	4.3	15	6.7	13	9.1	3.0	7.4	3.0	15
	本地通	8.5	5.4	7.7	7.4	4.2	9.7	4.2	17	6.7	17	3.7	3.1	7.9	3.1	17
	元塩公園	9.1	5.0	7.1	7.0	2.5	9.7	4.1	16	5.4	17	2.8	3.0	7.4	2.5	17

注1 「<」は検出下限値未満を表す。

注2 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

② 年平均値の経年変化

調査物質	調査地点	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
ホルムアルデヒド ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	上下水道局北営業所	3.4	3.6	3.5	3.7						
	会所町					3.5	3.8	2.8	2.1	2.2	2.2
	富田支所	3.8	5.3	4.5	3.2	3.2	4.5	3.6	3.4	3.8	3.9
	港陽	3.6	4.2	3.5	2.4	3.0	3.1	3.1	2.9	3.3	2.8
	白水小学校	4.9	4.8	4.4	4.1	3.6	4.1	3.7	2.9	3.1	2.9
	本地通	3.4	3.8	3.5	2.6	2.8	3.0	3.3	2.4	2.5	2.7
	元塩公園					7.4	8.2	4.0	5.2	5.7	5.0
酸化エチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	上下水道局北営業所	0.088	0.027	0.069	0.057						
	会所町					0.058	0.042	0.050	0.061	0.054	0.049
	富田支所	0.071	0.046	0.057	0.061	0.054	0.15	0.047	0.060	0.058	0.046
	港陽	0.082	0.058	0.057	0.058	0.054	0.072	0.049	0.079	0.070	0.044
	白水小学校	0.086	0.058	0.073	0.067	0.081	0.061	0.064	0.081	0.083	0.059
	本地通	0.080	0.056	0.063	0.060	0.060	0.048	0.061	0.082	0.059	0.052
	元塩公園					0.061	0.094	0.060	0.10	0.078	0.060
ベンゾ[a]ピレン (ng/m^3)	上下水道局北営業所	0.18	0.11	0.10	0.081						
	会所町					0.066	0.10	0.076	0.089	0.11	0.086
	富田支所	0.21	0.21	0.15	0.12	0.089	0.13	0.13	0.17	0.15	0.096
	港陽	0.14	0.19	0.17	0.16	0.076	0.11	0.080	0.12	0.13	0.12
	白水小学校	0.16	0.17	0.13	0.086	0.054	0.11	0.092	0.12	0.12	0.13
	本地通	0.16	0.26	0.17	0.12	0.083	0.20	0.098	0.12	0.15	0.11
	元塩公園					0.093	0.14	0.099	0.13	0.11	0.14
クロム及び その化合物 (ng/m^3)	上下水道局北営業所	5.1	7.3	6.5	4.7						
	会所町					4.7	5.4	5.2	4.5	6.8	5.0
	富田支所	5.9	7.8	8.5	3.6	5.2	7.4	4.8	5.5	9.3	5.1
	港陽	16	17	13	7.6	11	14	12	10	14	9.3
	白水小学校	21	27	24	20	14	38	20	15	24	22
	本地通	15	20	15	12	13	29	12	11	13	11
	元塩公園					17	19	15	17	14	16
ベリリウム及び その化合物 (ng/m^3)	上下水道局北営業所	0.014	0.010	0.012	0.011						
	会所町					0.012	0.012	0.014	0.016	0.022	0.017
	富田支所	0.019	0.020	0.014	0.012	0.018	0.017	0.015	0.015	0.022	0.014
	港陽	0.021	0.030	0.020	0.019	0.020	0.037	0.020	0.021	0.029	0.019
	白水小学校	0.028	0.031	0.030	0.025	0.035	0.028	0.022	0.027	0.031	0.025
	本地通	0.025	0.030	0.019	0.017	0.014	0.019	0.014	0.018	0.023	0.018
	元塩公園					0.020	0.021	0.022	0.022	0.027	0.016
トルエン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	上下水道局北営業所	8.4	13	8.4	10						
	会所町					12	14	9.5	6.1	8.5	8.2
	富田支所	6.3	9.2	8.1	7.0	8.4	10	7.6	4.2	6.6	5.8
	港陽	10	13	8.2	7.4	8.8	11	6.9	4.8	7.2	5.9
	野跡小学校					7.5	10	6.1	3.5	5.6	5.5
	白水小学校	11	13	10	11	11	12	9.4	4.7	7.7	7.4
	本地通	12	14	11	10	12	18	8.5	6.1	7.5	7.9
	元塩公園					10	11	7.9	5.7	7.9	7.4

注 調査地点ごとの年平均値は測定値を算術平均して求め、測定値が検出下限値未満の場合は、検出下限値の1/2として年平均値の算出に用いた。

3 環境基準・環境目標値

(1) 大気汚染に係る環境基準・環境目標値

ア 環境基準

昭和48年環境庁告示第25号
昭和48年環境庁告示第35号
昭和53年環境庁告示第38号
昭和56年環境庁告示第47号
平成 8年環境庁告示第73号
平成 8年環境庁告示第74号
平成21年環境省告示第33号

物質 項目	二酸化硫黄 (SO ₂)	二酸化窒素 (NO ₂)	一酸化炭素 (CO)	浮遊粒子状物質 (SPM)	光化学オキシダント (O ₃)	微小粒子状物質 (PM _{2.5})
環 境 基 準	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値0.20mg/m ³ 以下であること。	1時間値が0.06ppm以下であること。	1年平均値が15μg/m ³ 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m ³ 以下であること。
評 価 方 法	(長期的評価) 1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値(2%除外値)で評価する。 ただし、1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。 (短期的評価) 測定を行った日の1時間値の1日平均値または各1時間値を環境基準と比較して評価を行う。	(長期的評価) 1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から98%目に当たる値(98%値)で評価する。	(長期的評価) 1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値(2%除外値)で評価する。 ただし、1日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。 (短期的評価) 測定を行った日の1時間値の1日平均値または8時間平均値を環境基準と比較して評価を行う。	(長期的評価) 1日平均値である測定値につき、測定値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値(2%除外値)で評価する。 ただし、1日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日が2日以上連続しないこと。 (短期的評価) 測定を行った日の1時間値の1日平均値または各1時間値を環境基準と比較して評価を行う。	(短期的評価) 5時から20時の昼間時間帯において、年間を通じて1時間値が0.06ppm以下に維持されること。	(長期的評価) 1年平均値が15μg/m ³ 以下であること(長期基準)かつ、1日平均値のうち年間98パーセントイル値が35μg/m ³ 以下であること(短期基準)で評価する。
参 考	1日平均値の評価にあたっては、有効測定日数(1日20時間以上測定)のみを評価する。有効測定局とは、二酸化硫黄・二酸化窒素・一酸化炭素・浮遊粒子状物質については、年間測定時間が6,000時間以上、微小粒子状物質については標準測定法との等価性を有する自動測定機で測定されており、かつ有効測定日数が250日以上である測定局をいう。					

イ 環境目標値

平成17年名古屋市告示第402号
平成29年名古屋市告示第804号
令和 2年名古屋市告示第 57号

物質 項目	二酸化硫黄 (S O ₂)	二酸化窒素 (N O ₂)	一酸化炭素 (C O)	浮遊粒子状物質 (S P M)	光化学オキシダント (O _x)	微小粒子状物質 (P M 2. 5)
市民の健康 の保護に係 る 目 標 値		1時間値の1日平均値が 0. 04ppm以下であること。		1時間値の1日平均値が 0. 10mg / m ³ 以下であり、か つ、1時間値0. 20mg / m ³ 以 下であること。	1時間値が0. 06ppm以下 であること。	1年平均値が15μg / m ³ 以 下であり、かつ、1日平 均値が35μg / m ³ 以下であ ること。
評価方法		環境基準と同一とする。		環境基準と同一とする。	環境基準と同一とする。	環境基準と同一とする。
快適な生活 環境の確保 に 係 る 目 標 値				1年平均値が0. 015mg / m ³ 以下であること。		
評価方法				1年平均値を環境目標値 と比較し、その他につい ては、環境基準を準用す る。		
備 考	・光化学オキシダントについては、令和12年度までに「昼間の1時間値が0. 06ppmを超えた時間数が300時間以下であること」を当面の目標 として設定する。					
参 考	1日平均値の評価にあたっては、有効測定日数(1日20時間以上測定)のみを評価する。有効測定局とは、二酸化硫黄・二酸化窒素・一酸 化炭素・浮遊粒子状物質については、年間測定時間が6, 000時間以上、微小粒子状物質については標準測定法との等価性を有する自動測定機 で測定されており、かつ有効測定日数が250日以上である測定局をいう。					

(2) 有害大気汚染物質等に係る環境基準・指針値

ア 環境基準が定められている物質

平成 9年環境庁 告示第4号
平成13年環境省 告示第30号
平成30年環境省 告示第100号

物質	環境基準
ベンゼン	年平均値が $0.003\text{mg}/\text{m}^3$ ($3\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$) 以下であること。
トリクロロエチレン	年平均値が $0.13\text{mg}/\text{m}^3$ ($130\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$) 以下であること。
テトラクロロエチレン	年平均値が $0.2\text{mg}/\text{m}^3$ ($200\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$) 以下であること。
ジクロロメタン	年平均値が $0.15\text{mg}/\text{m}^3$ ($150\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$) 以下であること。

イ 指針値が定められている物質

平成15年環境省通知 環管総発第030930004号
平成18年環境省通知 環水大総発第061220001号
平成22年環境省通知 環水大総発第101015002号
平成26年環境省通知 環水大総発第 1405011号
令和 2年環境省通知 環水大総発第 2008201号

物質	指針値
アクリロニトリル	年平均値が $2\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
塩化ビニルモノマー	年平均値が $10\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
水銀及びその化合物	年平均値が $0.04\text{ }\mu\text{gHg}/\text{m}^3$ ($40\text{ngHg}/\text{m}^3$) 以下であること。
ニッケル化合物	年平均値が $0.025\text{ }\mu\text{gNi}/\text{m}^3$ ($25\text{ngNi}/\text{m}^3$) 以下であること。
クロロホルム	年平均値が $18\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
1,2-ジクロロエタン	年平均値が $1.6\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
1,3-ブタジエン	年平均値が $2.5\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
ヒ素及びその化合物	年平均値が $6\text{ng}/\text{m}^3$ 以下であること。
マンガン及び 無機マンガン化合物	年平均値が $0.14\text{ }\mu\text{gMn}/\text{m}^3$ 以下であること。
塩化メチル	年平均値が $94\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。
アセトアルデヒド	年平均値が $120\text{ }\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。

4 用語解説

一般環境大気測定局

一般に人が居住する場所などの大気汚染の状況を常時監視するための測定局であって、自動車排出ガス測定局以外のものをいいます。略して「一般局」といいます。

自動車排出ガス測定局

自動車排出ガスによる大気汚染の考えられる道路付近において大気汚染の状況を常時監視するための測定局をいいます。略して「自排局」といいます。

環境基準

人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として、環境基本法第16条第1項により定められた基準。大気汚染物質については、二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、微小粒子状物質の6物質、また有害大気汚染物質についてはベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタンの4物質について環境基準が定められています。

環境目標値

大気の汚染、水質の汚濁等に係る環境上の条件について、それぞれ、市民の健康を保護し、及び快適な生活環境を確保する上で維持されるべき目標値として、名古屋市環境基本条例第5条の2により定められた目標で、平成17年7月29日に告示され、平成29年12月21日及び令和2年2月3日に一部改正しました。大気汚染物質については、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、微小粒子状物質（4物質）について「市民の健康保護に係る環境目標値」が定められており、浮遊粒子状物質（1物質）について「快適な生活環境の確保に係る目標値」が定められています。

ピーピーエム

ppm

Parts per million の略。100万分のいくつであることを示す分率で、ごく微量の物質の濃度や含有率を表すのに使われます。

大気汚染では1m³の大気中に1cm³の汚染物質が含まれている状態を1ppmで表します。

ピーピーエムシー

ppmC

炭素原子数を基準として表したppm値です。

マイクログラム ナノグラム

μg・ng

1μgは100万分の1g、1ngは10億分の1gです。

2%除外値

二酸化硫黄、一酸化炭素及び浮遊粒子状物質の環境基準の長期的評価は、年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値で評価することとなっていて、これを2%除外値といいます。たとえば、年間の有効測定日数（1日につき20時間以上の測定値がある日数）が350日の場合には、高い方から350×0.02＝7日分を除いた8番目の日平均値です。（小数点以下は四捨五入します。）

98%値

二酸化窒素の環境基準は、年間にわたる1時間値の1日平均値のうち、低い方から98%目に相当する値で評価することとなっていて、これを98%値といいます。たとえば、年間の有効測定日数（1日につき20時間以上の測定値がある日数）が350日の場合には、低い

方から $350 \times 0.98 = 343$ 番目（高い方から8番目）の日平均値です。（小数点以下は四捨五入します。）なお、微小粒子状物質は98パーセントイル値で評価することとなっていますが、98%値と同様に算出された値で評価しています。

二酸化硫黄（ SO_2 ）

主に重油など硫黄分を含む燃料が燃焼するときに発生するものです。また火山の噴煙にも含まれます。

無色の刺激性の気体で、水に溶けやすく、高濃度のときは目の粘膜に刺激を与えるとともに呼吸機能に影響を及ぼすといわれています。また、金属を腐食させたり植物を枯らしたりするといわれています。

窒素酸化物（ NO_x ）

燃焼時の高温下で空気中の窒素と酸素が化合することによるほか、窒素分を含む有機物が燃焼するときにも発生する一酸化窒素や二酸化窒素などのことです。発生源は、工場、自動車、家庭等多岐にわたります。

赤褐色の刺激臭の気体であり、高濃度のときは、目、鼻等を刺激するとともに健康に影響を及ぼすといわれています。

一酸化炭素（ CO ）

無味、無臭、無色、無刺激の気体で、有機物が不完全燃焼したときに発生するものです。発生源は、自動車によるものが多く、その他石油ストーブ、ガスコンロ、タバコ等からも発生します。

人体への影響は、呼吸器から体内に入り、血液中のヘモグロビンの酸素運搬機能を阻害するため、高濃度のときは、酸素欠乏症の諸症状である頭痛、めまい、意識障害を起こすといわれています。

浮遊粒子状物質（ SPM ）

大気中に浮遊する粒子状の物質のうち、粒径が10マイクロメートル（1マイクロメートルは、1000分の1ミリメートル）以下の物質です。発生源は、工場・事業場、自動車、家庭等人為由来のもの、他、土壌の舞い上がりや海水の飛沫が乾燥してできた海塩粒子等自然由来のもの、燃焼等に伴い排出された硫黄酸化物や窒素酸化物、炭化水素などから大気中で発生する二次粒子や煙突から排出されたガスが大気中で冷やされてできる凝縮性ダストなどがあります。

この粒子は、沈降速度が小さいため、大気中に比較的長時間滞留し、高濃度のときは呼吸器等に影響を与えるといわれています。

光化学オキシダント（ O_x ）

大気中のオゾン、パーオキシアセチルナイトレート（ PAN ）等の酸化力の強い物質の総称です。大気中の窒素酸化物、炭化水素等が強い日射を受け、光化学反応を起こして生じるものですが、その生成は、反応物質の濃度レベルのみならず、気象条件に大きく依存しています。

高濃度のときは眼を刺激し、呼吸器、その他の臓器に影響を及ぼす一方、不快、臭気、視覚障害などの生活環境や植物にも影響を及ぼすといわれています。

炭化水素

炭素と水素の化合物の総称で、本市の常時監視では、メタン及び非メタン炭化水素を測定しています。非メタン炭化水素は、光化学オキシダントの原因物質の一つで、主な発生源は、工場・事業場、自動車などです。

微小粒子状物質（PM_{2.5}）

大気中に浮遊する粒子状の物質のうち、粒径が2.5マイクロメートル（1マイクロメートルは、1000分の1ミリメートル）以下の微小粒子です。粒径が非常に小さいため、気管支をすり抜けて肺の奥深くまで達し、呼吸器系疾患に加えて肺がんや循環器系疾患などを引き起こすと懸念されています。発生源は、工場・事業場からのばいじん、自動車からのディーゼル排ガス微粒子などの一次粒子と、燃焼等に伴い排出された硫黄酸化物や窒素酸化物、炭化水素などのガス状物質が大気中で光化学反応により粒子化した二次粒子などがあります。

ベンゼン

合成ゴム、合成洗剤、有機顔料等多様な製品の合成原料として使用されています。また、ベンゼンはガソリンにも含まれています。

特有の芳香性を持つ無色の液体で、水には溶けにくい但有機溶媒にはよく溶ける性質があり、揮発性及び引火性が非常に高い物質です。

高濃度のベンゼンを多量に吸引すると、めまい、嘔吐、頭痛、ねむけ、痙攣、息切れ、意識喪失など主に中枢神経に影響を受けます。また、発ガン性が指摘されています。

トリクロロエチレン

不燃性で脱脂能力が優れているため、金属部品の洗浄に使用されているほか、接着剤や塗料の溶剤としても使用されています。

クロロホルムのような臭いがする揮発性が高い無色透明の液体で、目、鼻、のどを刺激します。短時間で多量の蒸気を吸引すると、頭痛、めまい、吐き気、意識喪失を起こします。また、発ガン性があるといわれています。

テトラクロロエチレン

不燃性で洗浄能力が優れているため、ドライクリーニングに使われるほか、金属製品の洗浄剤や溶剤、化学製品の原料などに使用されています。

エーテルのような臭いがする揮発性・不燃性の無色透明の液体で、高濃度の場合は目、鼻、のどを刺激します。蒸気を吸引すると麻酔作用があり、頭痛、めまい、意識喪失を起こします。また、発ガン性があるといわれています。

ジクロロメタン

塩化メチレンとも呼ばれ、安定な化合物のため、塗料の剥離剤や洗浄及び脱脂溶剤として広く利用されています。

揮発性・不燃性の無色の液体で、高濃度の蒸気を吸収する場合、目、鼻、のどを刺激します。麻酔作用があり、頭痛、めまい、吐き気を起こします。また、発ガン性があるかもしれないといわれています。

指針値

「環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値」として定義されており、環境基本法第16条第1項に基づき定められている行政目標としての環境基準とは性格及び位置づけが異なります。

アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀及びその化合物、ニッケル化合物、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエン、ヒ素及びその化合物、マンガン及びその化合物、塩化メチル、アセトアルデヒドの11物質について指針値が設定されています。

アクリロニトリル

アクリル系合成繊維、合成ゴム、ABS樹脂及び塗料に利用されています。

可燃性の無色の液体で、粘膜への刺激作用があり、大量に暴露すると中枢神経麻痺になります。また、発ガン性があるかもしれないといわれています。

塩化ビニルモノマー

クロロエチレンとも呼ばれ、食品包装材、ビニルシート、建材等に広く使用されるポリ塩化ビニルの合成原料となるものです。

無色の気体もしくは液体でエーテルのような臭気がし、高濃度で暴露すると麻酔作用があります。また、発ガン性が指摘されています。

水銀及びその化合物

蛍光灯、温度計、アマルガム等に使用されています。

常温で液体である唯一の金属で、高濃度で蒸気を吸入すると腎臓への影響があり、低濃度の場合においても神経系、免疫系への影響があるといわれています。また、化学形態により毒性に違いがあり、メチル水銀化合物は発ガン性があるかもしれないといわれています。

ニッケル化合物

金属、合金元素の他に多くの化学形態があり、貨幣、ステンレス鋼や耐熱・耐蝕合金、メッキ、触媒等に使用されています。

職業的に高濃度で暴露すると呼吸器への影響があるといわれています。また、化学形態により毒性に違いがあり、発ガン性が指摘されています。

クロロホルム

主に化学品の製造原料として使用され、フッ素系冷媒やフッ素樹脂の原料等に使用されています。

揮発性を有する無色透明の液体で、蒸気には甘みがあり、常温で日光に長時間さらされたり、暗所でも空気が存在すると徐々に分解し、有毒なホスゲンを生じます。また、発ガン性があるかもしれないといわれています。

1,2-ジクロロエタン

主に塩化ビニルモノマーやエチレンジアミン等の合成原料の他、フィルム洗浄剤、有機溶剤、殺虫剤等に使用されています。

クロロホルム様の臭気があり、常温常圧下では無色油状の液体で揮発性が高く、引火性があり、煙の多い炎を伴って燃焼します。また、発ガン性があるかもしれないといわれています。

1,3-ブタジエン

合成ゴム（SBR等）の原料、樹脂（ABS樹脂等）の原料、合成ゴムラテックスの原料などに使用されています。

常温常圧下では弱い芳香を有する無色の気体で、化学反応性に富み、熱又は酸素の存在下で容易に重合します。また、可燃性が強く、空気と接触すると爆発性過酸化物を生成します。また、発ガン性が指摘されています。

ヒ素及びその化合物

主に農薬、木材防腐に使用されています。化合物は発光ダイオードや半導体の原料などに用いられています。

無味無臭かつ無色の毒物で、吐き気、おう吐、下痢、腹痛などの急性症状や、皮膚炎、骨髄障害、末梢性神経炎、黄疸、腎不全などの慢性症状がみられ、発ガン性も指摘されています。毒物及び劇物取締法により医薬用外毒物に指定されています。

マンガン及びその化合物

合金の原料、マンガン乾電池の電極、酸化剤等に用いられています。必須微量元素であり、欠乏すると皮膚炎、毛髪の障害、低コレステロール血症などが起きます。その一方で経口又は吸入経路で多量に取り込まれると、記憶障害、歩行障害、言語障害などの症状がみられます。

塩化メチル

クロロメタンとも呼ばれ、主に医薬品、農薬の他、有機合成用各種メチル化剤等に使用されています。

可燃性の無色の気体で、吸入により中枢神経系に対する作用がみられ、高濃度暴露では視覚・判断力・記憶力の低下等が生じ、さらに酩酊状態を経て痙攣、運動失調を起こして死亡することもあります。

アセトアルデヒド

主に酢酸やエチルアルコール等の製造原料の他、魚の防腐剤、防カビ剤等に使用されています。

無色透明の液体で青臭い刺激臭があり、液体及び高濃度の蒸気は、目、鼻、喉の粘膜や皮膚を刺激し腐食を起こす他、麻酔作用及び意識混濁、気管支炎、肺浮腫等を起こします。また、発ガン性があるかもしれないといわれています。